國有鐵道の管理経營に富る鐵 は一次通部の事業は極めて貧弱と なつて終つたといふ考へ方を なつて終ったといふ考へ方を なって終ったといふ考へ方を する人があるやうだがそれは 世界も甚しい、支那に於ても で通部と鐵道部が分れてゐる

とがスの一體化が實現されといるの一體化が實現され

貫現されつ

通部ではその準備工作とし

スクの多い時代の

に關し重大な訓示をなす事と海軍省に招致し、海相より會海軍省に招致し、海相より會

ある

(11

日系官吏エキス

聽

(主)

をして八分配當を保償すること として日滿合辨の新會社を設 立し政府はこれに益金補助と 立し政府はこれに益金補助と

人職員の素質は不良で

る從來補 の養成訓

意味するものであると附言し特の一致を見對日共同作戦を決定は蔣介石脈と廣東派の感

の整備、改善と職員 完成した今度は國内

政の確立。

意識がなくなつて新らしいイ 意識がなくなつて新らしいイ 意識がなくなつて新らしいイ

になら

と民營線があり、

かあり、比較的少い

くして北支の新情勢に應じ は燈台を新設し勃海灣を明

上るといぶ 状態であ

資本で經營し得るので民間企

私設鐵道は現在總延長約五

私設鐵道

私鐵補助法施行

躍進の交通部を語る

矐

生)

、ドン軍縮會議に於て愈々正 東京國通】帝國全權團はロ

一般目に立至り之に伴ふ今後の 理信によつて態々會議は決裂のご命

既定方針に邁進 人藏當局は

であ つき 版田外相は十六日談話の するものであることを 強調す であ つき 版田外相は十六日談話の するものであることを 強調す を 公表帝國政府の公正妥當な に 首相と外相の 歴明を 在外使 探 の 自議脱退の已むなきに至った と 本 本 特神徹底につき適當の指 は 本 本 神 神 徹底につき適當の指 と で は 世 本 特神徹底につき適當の指 と で の 理由を 関明すると共に 帝國政 で った

火管制採照燈による捜敵演習 大規模の計畫の下に全部の燈 大規模の計畫の下に全部の燈 大規模の計畫の下に全部の燈

職打合せの総購朝中であつた修度並に支那各地に於る排日修度並に支那各地に於る排日

高重要打合せをなし三時會談腦部と會見、對支問題に關す

胡漢民氏

々南京入り

一時より外務省に於て外務首

陸軍の態度

聞

時高橋聯合艦隊、加藤第二艦底せしむ可く來る廿日午前十底せしむ可く來る廿日午前十

るから陸軍としても太平洋の 最競爭は飽迄避ける方針であ 最前等は飽迄避ける方針であ

聲明を通達

常該各國に諒解を求

【香港十六日發國通】香港英軍事施設必至とみて香港に盛んに 正再施設を行ってゐるが、二月初旬陸海空軍聯合の防空工月初旬陸海空軍聯合の防空

須磨總領事

外務首脳部に懇談

前上陸等一切の作戦が行は陸海軍共同の要塞夜襲並に

ん敵る豫定である

及川第三艦隊各司令長官

百武佐

るとして平静の態度を採つて 持の方針で進み度い意向であ が備施設は出來るだけ現狀維

御下問に率答して退下した

在外使臣

田首相

尚今後に

することを覺悟し公債の漸減に重點を置き今後の公債消化力に餘力を残すことに對しても十分留意して來たのであるから軍縮會議が事實決裂に終つても今更特に財政方針を一

米海軍省の太平洋

【東京國通】軍縮會議比別に 東京國通】軍縮會議に於て帝國 全權の公明正大立る主張が 登に關係諸國の容るるとこ たならず會議脱退の已む を得ざるに至つたことは誠 に遺憾に堪へない、之で太 平洋の防備制限も本年末を 以て態よ撤慶せらるること となった譯で陸軍としても 亦したのである、今次の協心を

まのとは思はない 見るのは必ずしよ 見るのは必ずしよ ものとは思はない のがあるから東西 のがあるから東西 に響國一致愈 に響國一致愈 があるから東西 でがあるから東西 でがあるがら東西 でがあるがら東西 でがあるがら東西 でがあるがら東西 でがあるがら東西 でがあるがら東西

代

軍縮脫退 經過を上奏

行する筋合でもないとの意向 なく之が為に急激に増税を断 なく之が為に急激に増税を断

本を假想敵

-

香港英軍の防空演習

來月初旬舉行亡决

【ワシント十四日發展通】日 辯者否定す 内部に電報を以て會議決裂の大部に電報を以て會議決裂の公電に接し即日海軍



の我態度

海軍首腦部を招致し

脱退後の方針を徹底

廿日午前十時より海軍省で

海相より重大訓示せ

七十

9

服清酒

時

リ連絡船にて騒任する 時東京驛發西下十九日 日本

▲島羽貞三氏(三井物産)同 ▲島羽貞三氏(三井物産)同 合會)同

工會斷所で對支外変に關する 廃南京總領事は十七日京都商 時東京發赴廳の途に就いた須 六日午後十一

甲類一氏(日清製油會社関合社員)同

勝氏(會社員)十七

記長) 同 長) 同

車中左の如く語つた

▲下山俊竹氏(軍人)同午後

處らで、見張つてたらいゝぢやな

云つた。すると、勝子を押

▲ 岡野信一氏(同)同 ・ 古澤鶴壽氏(同)同 ・ 古澤鶴壽氏(同)同 ・ 古澤鶴壽氏(同)同

『そんなこといって電車に乗られ

の人までが、びつく

「フン。突が、そんなけかりぼい」や終子の婉から触れるやうにして女だと思つてるの?まだ、そんな」たまれなくなつたと見えて、お祭でフン。突が、そんなけかりぼい。 さずがに、三人の男達も、ゐた し恐けやうとした奥太洛のひとり 「フンの鍵が、そんなけかりぼいちまふと、それつきりだからない

御座敷が出來ました

大賣行につきお急ぎ御覧下さ

ースロス氏

あた二が線の三の米を一ろ、ボッー

に焼しい下駄の音が聞えて、

東京大相撲、けふ第八日、

に比し飛躍的發展を遂げてみの締結により日滿郵政の一般行政の締結により日滿郵政の一元の締結により日滿郵政の一元 郵政の移譲が行はれるが、 語の二重放送 的設達を遂げ る、又放送事 童となつてる

▲小林善作氏(造船所)十六 日午後來京國都ホテル 中原役太郎氏(ボリドール) 同 金膜を三氏(満洲特産中央 会員)同 ▲西村光之氏(油坊聯合會)同 同日中雄氏(日清製油會社)

変変施する役

を設置することになつてあるを設置することになつてある。ウー方漢河方面はゴールドラッシュ時代出現のため船舶の交通が激増したので船路標齢を行いている。 職員の日本留學によ 観念を植ゑつ 報告の道義的 フの養成に努めると

郵政の確立

重慶視察へ

はいるが

際が高い 満洲土産陳列所で土産品研 究の座談會、國都新京に土産 品ありや 何をか と叱られそう んなるものとす、…

『よし。其の言葉に、間違ひなか とせて臭れたつてい」がやない 『手前選、参郷して、何違へ行く別れる呼ぐらぬ、されいに別一少女選のはうを睨めつけるやうに 妾だつて、鄧つた水を で取合いてしまつたのです。 『それがい」わり見さん、連れて 「やい、よされえかツ」 行つてより「見さんツたら ないワ。兄さん、どッかへ連れているらア、何處へ行くかまだ別ん 三人の奥太者を、五人の少女達 それにつれて、

廣告御用命は電話。ヨ三〇〇番 季節料

出前迅速

和祥食、

き焼

(御飯附) 金一圓

)金二圓

金一圓五十錢

御宴會費

金貳圓以上

受験に信 **●** 過滤 ®識遺骨盗難事件 の漢語に一両部間の の落語 1 0 **史の名小説の外に、** 対を護る人 ク二月號五十銭 自分を葬った話 東海の佳 女よなぜ泣くか に夫の常吉神田越 人泥之助 臆病も 賀 田

軍縮兩全權は

々支那問題につき調演、十九 園並に綿業クラブに對して夫 神戸發連絡船にて渡支二十 し廿二日南京に**爾任する**答に對し廣田外相の訓令を手に對し廣田外相の訓令を手

相茂氏(軍人)同午前 日午後東京へ 日午後東京へ

南京會議が開催されるかどの場合である、軍縮では、本の職のてから篤と現地のよって富方の態度を決定する考へである、軍縮決定する考へである、軍縮、大学の、本態度に出るかといる。本事を聞かれるが軍縮の主

ドン酸の箱崎丸で酵朝の途に野、氷井雨全標は卅二日ロン

ン 永

れき軍縮會議にはオ

會議に

A

を

品録途に

日満を

國防の完璧を期す

東見島着 二四十一九州への最短 大連 發 「九番が、 (九番が、 長崎鹿兒島行 取短連絡航路· (每十日目出

では、1人の大学には、1人の大学には、1人 三二圓 三八圓

附一五圓 二〇圓 一四圓 一人圓 一四圓 一七圓

1111年出版 111年出版所 111年出版代理店

本、町寛氏(同)同奉天へ 梅津理氏(寧天工菜土地常 務理事)同 ・ 小黒藍太郎氏(土建協會理 事)同 ・ 一年野誠氏(小野田セメント ・ 會社員)同 ・ 一・野級氏(海軍副官)同 ・ 一・野級氏(海軍副官)同 ・ 一・野級氏(海軍副官)同 ・ 一・野級氏(海軍副官)同 ・ 一・野級氏(海軍副官)同 ・ 一・野級氏(河)司 順氏(内外綿株式會社) 草氏(高軍副官)同 変介氏(海軍副官)同 変介氏(海軍副官)同 変介氏(海軍副官)同 変介氏(同)同 変介氏(同)同

◆田村羊三氏(豆信專務)同 ◆田村羊三氏(豆信專務)同 ●田村羊三氏(豆信專務)同 れさせて吳れたつているちやない

店長)同 本勝野太氏(泰東洋行)同 本小池文雄氏、總局旅谷課長)同 同同 署長)十六日午後來京

依のと、胡漢民氏の南京入り ボール十五日發ルーター電に

その日く

在香港英軍、日本を假想敵の間

「姉さんは、今何處にゐるの? 勝子は、其のお祭の蘇々しさを ういつて、ジッと説を押へてる 世帯やつれのしたお祭の顔には

かへ連れて行つてより にからみついて、少しも離れや少女達は、男の手にぶら下り、

比前迅

20次八人感觉時代 02 殿後の切れ 東亞高等

鐵道

姉

ると、直ぐ、男達のはらへ向き高お祭は、勝子に一寸額いて見せ 限すやらに云ってゐた。 「さ、一緒に蹴りませら」る 0 力11柳咲子作 る人達が一覧にこちらを見てゐた さつきの男は、顔をびりん 2

たして置いてお異れよ。どつか其にして置いてお異れよ。どつか其 「何も逃げるつていつてやしない 例の低い底力のある瞬で助うい 少女の一人の腰を戦 女は、大阪に、

室にあた人は勿論、いま職へ入つ 一般らしたのです。急に、展船玉が 「痛いわ」痛いわ! 何すんのよ

紫敵な傑作揃です 0

大變な評判です

イッノイに生れ現在はイオミ 大人同等世界一週旅行の途わざく、伊豆下田のハリスの遺 資人港のリオデジャネロ丸で 変別した、ハーバードさんは

でして事務室が狭隘を痛感して して事務室が狭隘を痛感して して事務室が狭隘を痛感して のたが今度郵便局更側空地に

講習會は一月十七日、十八日満洲門道鈴研究會主催の道路

新京商業

キンス主演「虚榮の市」を封切ることに決定したが、この封切りに先立ち空前の大作品として同映書の眞價を紹介する意味で初めての試みとして左記の如く有料試寫會を開催することになつた、希望者は至ることになつた、希望者は至ることになった。

新年總會

後一時から翻音會なので装要を 記れが初観音會なので装要を 職島、脈等がある

あ

冰上選手出發

十七日から三日道路講習會

松月の三人組強盗

新京署員が逮捕

映畵 / 虚榮の市 /

△會費 △期日

二十一日午後十時閉 電直後 (茶菓の用意

編島縣人會では來る二十五日 宇後五時からダイヤ街大陽ホ テル階上大展間入十疊で新年 宴會を乗ね繋談會を開催する ことになつたが、當日はお國 野で大いにはしやがうといふ 趣間で會費二圓五十錢奮つて 参加ありたいと、申込は二十 四日まで北安路市營住宅一一

有料試寫會

の配特作品全硬壁總天然日では來る廿四日よりR

初觀音會

寺の

イラー・ヘリス氏へ五九)は ・ 大伯父に當るハーパート・テ 大伯父に當るハーパート・テ 大伯父に當るハーパート・テ

が、値かに約二十分に短縮されるはずである

央電報局の

東京することとならう 東京することとならう

道路舗装に就

清水本之助

五分發新京に向ふ售

增築竣成

道約四十分程度を要するもの (大局廣場)から自動車で片 邦里これが出来れば現在新京

一年度は八月下旬或は九月上て總會を開いてゐたが昭和十一年度は八月下旬或は九月上

グラムの主なるものは左の如 十九日の三日間に亘り肥念公

菊地

きで着手し六月末には早く

◆…道路講習會開く…講演者は近藤京大教授

表る十五日際夜附屬地の眞中 現金約九十餘圓を現签逃走し 大り出汲を以て妻女を脅迫し 大り出汲を以て妻女を脅迫し

三十分鐵道北新安屯を徘徊中 右本質を自白、驚膝品とし三十分鐵道北新安屯を徘徊中 右本質を自白、驚膝品とし三十分鐵道北新安屯を徘徊中 右本質を自白、驚膝品とし

の朝刊第一面に日本郵船の廣新組は満洲事變以來日本側の新紙は満洲事變以來日本側のが、廣州の民國日報は十六日が、廣州の民國日報は十六日

理由を詳説し國民の覺悟をう

リスの線者

會議脱退の已むなきに

曜

土)

花畑町五十番地、現住所吉林館にさる三日から原籍岡山市

大丸旅館

南嶺の満人雑貨店へ

一人組拳

銃强盜

國都建設局で自動車道路

四十圓踏倒さる

利及び商工會議所令に関する 水力資源調査並に計量促進に である である である 一日午前十時より率天 に合地の代表者をして上京せ の職案あり官吏消費組合の 商工業者は何處へ行くか?來 は各地の代表者をして上京せ の職案あり官吏消費組合の 商工業者は何處へ行くか?來 は各地の代表者をして上京せ の職案あり官吏消費組合の の職業あり官吏消費組合の である が出席十九日、二十 に合地の代表者をして上京せ の職案あり官吏消費組合の である が出席十九日、二十 /法權撤廢近づき 廿一日奉天で全満商議總會 台地代表上京陳情 一業者動く

凍傷と同様に 火傷にも御注意

査中である 子持家庭のス ブ嗣頻々

はハイラルで手皮オーバー着 生れ住所不定橋口敏雄(二七) 佐賀縣西松浦郡伊萬里一五三

地定城内東四馬路興益旅館舎 に潜伏中を十六日午後七時三 十分ごろ領事館署刑事に逮捕 された

僅かに二十分間で 行樂地淨月潭

專ら附帶施設について全馬力するまでに至たので、本年は 水池も大體完成し送水を開発 **今夏六月末に完成**

【東京國通】長谷川海軍次官 は廿七日午後六時東京中央放 送局より全國民に對してロン ドン會議の經過並に決裂後の では、一次では、一次では、1000年では1000年では、1000年では、1000年では、1000年では、1000年では1000年では1000年では、1000年では1000年では、1000年では1000年で1000年で1000年で1000年で1000年で1000年で1000年 事ら附帶施設について全馬力 をかける事となつた、同貯水 池一般周知の通り市民の行樂 地として比類ないもので、同 地として比類ないもので、同 時水池周園の植林、土堰提前苑 水池周園の植林、土堰提前苑 の整備を急ぐとゝもに新京と 同貯水池を結ぶ自動車道路の 建設に取掛ることになつた、 XXXXXXXXXX

民國日報

日本側廣告掲載

被室とし一階は郵便局の自動 一階を電報の事務室並びに機 建設處移轉 電信機械の据つけにかゝつて どに使用される との時間登な 整へ五月末には落成の鞭定、ゐる、外觀も解氷期とゝもに

國道局の

(東京國通)大日本庭球協會では左の理由により本年度は こなった冒十六日發表した 一、デ杯チームの構成に内容 充實せる編成を得る事が不 可能である事 分となった事

庭球協會としてはデ杯チーム派遣を中止する事になつたのは一九二一年熊谷清水雨選手がデ杯職に参加以來始めての事で甚だ遺憾の意を表してゐ

京吉陽道に就て 東住 新京上下水道計畫

ンク及國都建設狀況顧察南嶺淨水場、南新京給水タ午後二時-四時 當分天津に滯在 肥原少將 米田 正文

日滿實業協會

秋新京で總會開催

XXXXXXXXXXX

著名實業家大學來滿せ

日を同地で過すので當分滯津 原將軍は宋哲元氏が入津舊正 下津から入平豫定だつた土肥 東條司令官來吉 る事になった 一九日歸京 天明

北西の風晴一時曇 と無温

本第三日(見學) 午前九時ー十二時 公會堂前集合、腰站貯水池 京吉闌道(石碑嶺迄) 十二時―午後二時 貸待 库合

庭球協會發表

力なら 陽ビルの一階を食堂階とよ

賓宴樓

人會新年

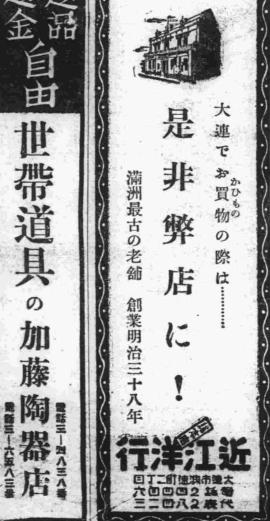
て滿鐵醫院の前に出る小路胃

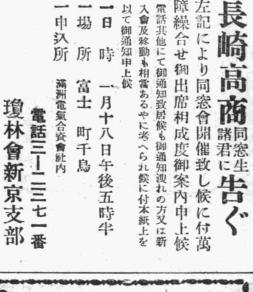
栗した、千太郎—千太郎どう 屋の「千太郎」といふのが開



本これ左褄時代の千太郎さん 「千太郎」とつけたところが にもしろくもあり効果的だ… なもしろくもあり効果的だ… 常するもの▲古く長春時代か ら千太郎、千太郎で顔が廣い んだから商資繁昌は疑ひなし

逐金自由 逐品







大體異議なき模様である、 謀副長板塩少將は十六日午後 の打合せ並に新情勢観察のた の北交に赴いてゐた關東軍を

视传

一立二本人

状と酒

三三大 桐箱詰

御

涛酒

かし英米兩國船主は加盟社の 増加を極度に忌避し昨年度に 於て外船排斥のため運賃を六 於て外船排斥のため運賃を六

申込む

マニラ・フイリツピン、ニュを計畫中であつたが、今回在で計畫中であつたが、今回在 に加盟 育同盟

山下汽

萬と正式に發表さる

々避難してゐる | ぬ境線附近の右兩省住民は彼

東方文化研究へ

禮教司着手

舊年關金融視察に

ンケ州の田舎町にさゝやかなは刀論各地のハリスの遺業をしてある、日本には二週間滯在して伊豆下田へはのが客地のハリスの遺業を

『モスクワ十五日發図通』ソウカシエウスキー氏は十五日ウカシエウスキー氏は十五日の中央執行委員會の席上でソースを自動を表し、右の如き兵力がある。 「国に此して現在百三十萬に達する冒酸表し、右の如き兵力は一年前の九十四 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でいる。 でい

西尾參謀長 通化、新義州

寧夏綏遠省境に

東方文化研究に對する必要はかれてより識者の唱道し來つたが、滿洲國文教部體教司では本年度の事業として東方文化の研究並に普及のため、文化研究院を奉天にのため、文化研究院を奉天に

中司長赴滬

生松科長も同行=

ツ聯の勢力

を設けて準備を進めてゐる

連部北の濃政部應合三階に移 ・ は庶務科、同北面は新京建設 は庶務科、同北面は新京建設 社に過ぎず加関決定までに一

府船、三井、國際、川崎の五名のに反し日本船側では郵船るのに反し日本船側では郵船

方を申出たが日本船主側では

午後一時半新義州飛行場に到 桓仁方面を上空より視察の後 花谷、山村各参謀を帶同通化

清する筈である、西尾参謀長 はそれより守備隊省公署を視 系の後一泊、十八日午前八時 五十五分新藤州飛行場鼓大連 に同ふ豫定

め西尾騰東軍豪謀長は十七日滿軍の冬期討伐狀況観察のた

板垣少將歸京

紛糾は免かれないものと觀ら 五時飛行機で歸任した 省政彙覽」第一輯

を強行したが引続き各省篇を ・一報として吉林省篇(日文) 綾刊すること」なつてゐる 宇佐美寬爾氏

公本

白

二立瓶語 二立瓶語 五、〇〇

人逝去

所長、横山副・所長より それ のた、なほ計報に接した武国 のた、なほ計報に接した武国 が長、横山副・所長より それ 長谷川賢氏逝去

【北平十六日遼國油】 営地殻 村の難誌「支那問題」の社長 中であつたが十六日朝八時途 中であつたが十六日朝八時途 申込所

日午後一時五十二分あじあで 來率中の山岡第〇團長は十七

筈である

杯戰

参加

奉天發赴京

田中財政部理財司長は上海の日中財政部理財司長は上海の日午前十一時競飛行機にて上海に赴いた、尚主計成生松科長も十六日午後八時競大連に上き出中理財司長は上海の

挨拶 日本ポルトランドセ 駅設會(記念公會堂食堂に 於て)

メント同業會理事

日時一月十八日(土曜日)正午後五時た記により定時總會を兼れ新年宴會を開催致し度く御誘ひ合せの上奮つて御來集被下度願上候 の方有之哉も存じ御氣付の方は御誘ひ合の三圓也(當日持縁の事) 新京吉野町一ノニ **中左記事務所迄** 申込所 記念公會堂落合迄 來る廿四日午後五時より記念公會堂 費 金四圓(常日持參) 育要 金四圓(常日持參) 茨城縣

一月二十三日まで 電計三一四八〇四



な守りて災禍を防ぐに、 紫の人 華美を武しめ

日の人 物事躊躇せず勇 を助して進むに利ある日

がら一能子女史の

来る十八、九の兩日記念公會 室で古今獨歩の大浪曲宮川左 近師が開演する、恍惚とさせ る美音、天籟の妙節、圓熟し

殊に今度は本年度競表の新題 村を携へ來つて熱演する、一 行は宮川近若、同近勝、同近 下中軒魁月、浪花亭〆奴、 下中軒魁月、浪花亭〆奴、 高方、既に市中では左近來る の噂に前人氣が沸きつゝある

ファン待望

0

曲

宮川左

九の兩夜公會堂

に着手するので蔵よ二月下旬 が入社し二月より同氏は新作 が入社し二月より同氏は新作 を進出四郎監督

三部制 聲

する。 を受える。 が表別の名門詩人ベルトラ が表別して勝切に、日本女流摩 地に於て大成、日本女流摩 地に於て大成、日本女流摩 地に於て大成、日本女流摩 地に於て大成、日本女流摩 地の獨唱會に本場にだ。 に死別して勝朝昭和七年再 であるが、昭和三年大君 に死別して勝朝昭和七年再 であるが詳細は追って以來各 前満洲を訪れるものである 前満洲を訪れるものである 前着洲を訪れるものである。 に死別にない。 に死別して勝朝昭和七年再 であるが詳細は追って以來各 は近って設表 であるが詳細は追って設表 であるが詳細は追って設表 であるが詳細は追って設表

Ŧi.

功を奏し活躍自在なる吉日四線の人 氣運旺にして大 誘はれ間違を起し易しの人 吉なるに似て邪

宮壽浪天桃宮宮宮宮

主催

7

オキ・

ダンス・

アカデミ

若左近近近

を得れば臘分の殺達を建て 乙と庚と壬が吉 乙と庚と壬が吉 ●二県の人 上下内外の親交 **新事業には不利**

女開 大已土宿 安亥曜

一 勝

1能子、三甫豊、 14本の職ひな

新興キネマ東京撮影所で募集 してみる日本のテンブルちや してみる日本のテンブルちや してといって歴行者をホトホト困 らせ七日の締切を十日迄延ば すといふ感況振りを呈したが 申込者總數千五百名を優に突 ちゃん殺倒

疾風影法師」 「女優々奈子の裁場ー十八日まで、岡の「女優々奈子の裁場ー十八日まで、岡の「女優々奈子の裁場ー十八日まで、岡の「女優々奈子の裁場」が「ツース・ムアの「村」が「カースを呼ばれている。



新京公演决定 來る卅日・公會堂で

用して三部制を實施するこ 製テ は膝 ンプ

0

邦勘各社二月

郎は一三日ヨリ

麗

八日より二日

0

太郎特別主演「勝太郎子!

百字獨步?



の藾天・音美の惚恍 節妙

公認電話、愛買 新電話、愛買

る樣になりました の様になりました の様になりました の様になりました の様になりました の様になりました 上ます 一致す事が出る 五 くせ

科醫學士上 電話 五七 九九 古



O廣告 八日! 御來場の程を! 御用命は 於 回 扇 土曜日・午後一時より五時まで 35 --電話三二三〇〇番 會 りげせまま出場 0

灰笠淳子、 P

0

設備、蒸氣煖房、食堂、水洗式便所、洗面並浴場完備間取、四疊牛押入附腰端住良、室內朋るく日當良 御希望の方は 電話3三八八八番

場所大馬路三二(路東)三階建

下宿(平安莊)

1 殿四

撮 脚 原 影 色 作

江久美高澤村廣黑小島星杉岡 川原川松村田瀬田 宇日か美 港山の繪貞宏恒記 港出の繪子 一子 一子 一子 品作女處の切封頭劈春新が活日大 ティ古渡 年 変 匠

*スヤキータスルーオ部劇代現活日·聲酸全ンタスェウ比無界世



十八下階

アピオチェ場酒の街 のたで快愉が連常御の ルクタクベス超ドヴテイナコ

に手の誰は てべすはづがづかの悅愉の世の此 すまゐ てれらめ さおに 畵映 の此 作特 トツテイナユ

勝優、す

とを民間に賣下せんとしたが を民間に賣下せんとしたが を正神廟は曇に國有財産より を正神廟は曇に國有財産より

バンク業務機承につき

t

一志二片三分一 七七留比八分五

所有者廿五萬圓である 断有者廿五萬圓、滿鏡及び林場權

一月上旬の新京曜發活貨物 新京曜 發着貨物の主なるものに 並に到着貨物の主なるものに 立に到着貨物の主なるものに 対応 はんぱ たの如くである

され我需業者をしても既に日 委員會を組織し對策を考究は愈々來る四月シムラに開催 同業會綿購聯等五國體が準に大阪國通)第二次日印會商 に紡騎棉花同葉會輸出棉糸

萬備布

関を支出することに内定した 織出組合の積立金より二十萬

株式相場 株式相場

営業者早し

も對策な練る

(一石植段) 混合百片植段) 二、明 出來為 二、五二 [八本 二、五] [八本

日印會商

各地株式事市况 東京株式(短期) 特付高値安値 東京株式(短期) 大統一等の 東京株式(短期)

全 教育廳に於てこの願か歴史的 由緒を有する事判明民間に費 し文教部に報告、此の程右取 上めの通知があつた

クによつて引機がれるとの報告し来つた パンク閉鎖後の攀務が米國系 回之を正式に否認し、その旨にカルピンソ聯金融機關ダリ・ ピン米國總領事館に於ては今かルピンソ聯金融機關ダリ・ ピン米國總領事館に於ては今

第一回寶 一志子三一分記 ●阪神日英為替 一回寶 一志子三一分記 第一回寶 一志子三一分記

及他豆

通りである。 通りである

年十二月中の

ある(新京商工會議所調査)資品並に其數量は左の如くで

創立事務所

もので清朝發祥の地長白山もので清朝發祥の地長白山を源にし、各地を潤す松花江の守護神として毎年二月八月に盛大な祭典を營み、皇帝よりも常に賜物あつた程重大視されてゐたものである

00 三、、 三、、 三、、 七七五0 五五00

二九弗 | 六分十

旬

【大連國通】特廉輸出最盛期 に入り北端に於ける水豆問題 以前鐵は十六日公主菌農事試 時所に於て混保大豆の規格查 定に關する打合せ會議を開催 定に關する打合せ會議を開催 た、今年の水豆は齊克線、京 た、今年の水豆は齊克線、京 大大、今年の水豆は齊克線、京 大大、今年の水豆は齊克線、京

える水豆が線敷約七千萬噸と 見られ例年の輸出量の二割二 水豆は獨り農民の死活問題の 水豆は獨り農民の死活問題の みならず滿鐵、特産商並に政 府當局等にも重大關係あり、 之が處置につき滿鐵は近く何 等かの意思表示をするに非ず やと觀られてゐる

を失はれし時、夢に神仙現を失はれし時、夢に神仙現れ皇子は吉林松花江を守る神になる、依つて松花江の神に立派なる廟を建立せよと告げたるにより皇帝は乾隆四十二年九月詔書を降され當時の吉林將軍福安康が命を奉じて建立せしものでもので清朝發祥の地長白山を源にし、各地を潤す松花江の守護神として毎年二月に落大な各世となる。

(一月·吉前場)

海外經濟電報

▲上海爲替

替相

天を中心に營業する方が合理地の油房其他の工業も又同様地の油房其他の工業も又同様の油房其他の工業も又同様の油房其他の工業も又同様の油房其他の工業も又同様の油房其他の工業も又同様の対象を失いに登業する方が合理

混保大豆規格

特産商滿鐵打合せ會開催

定す「オラが世の笑ひは部屋への朝宗を現段階の特質と規への朝宗を現段階の特質と規て補洲農業恐慌の全面的破綻

減運賃によつて著しく不利を中間地の工業として遠距維遞

適用をハルビン鐵路局に交渉上げによつて尠からぬ損失を 上げによつて尠からぬ損失を

售運賃適用を

旣約

品品

計ツ

特達商は二月及び三月積の旣 中であるら實施される新運賃によると 上げによつら實施される新運賃によると 上げによつら實施される新運賃によると 上げによつ

特産商が哈鐵に交渉

長及び村上陽東軍職間外四名 は十六日正午新京より飛行機 にて來吉、森林事務所大同林 案を訪問、大同林業改組問題 に就き打合せの上同日午後六 に就き打合せの上同日午後六

大同林業視察

| 一名方面で運動開始にハルビン國連」二月一日よ | 藤 子 り實施される遠距離遞減運貨 | 球他の穀類についてはハルビン方面に於 | 茨 別中心集散地としてのハック重要性は切った。 「ハルビン國通」二月一日よ り實施される遠距離遞減運賃 についてはハルビン方面に於 についてはハルビン方面に於 についてはハルビン方面に於 に大連中心主義が露骨に表現 遠距離遞減運賃不評

九〇一、七九〇

吉鐵管内の

開して營業品中主要貨物別に 見れば 見れば 理保大豆二〇、八五〇 電通大豆一一、五八九 参、石炭が之に次いである。 参、石炭が之に次いである。 が、石炭が之に次いである。 が、石炭が之に次いである。 を特達大豆が約その中敷を占 が、石炭がたの中敷を占 が、六九〇 、六五八 、六五九 、六五九 對滿支貿易概算 ては、所詮資本主義經濟と國在までの如き行き方を以てし は、 活天地」の時潮 が建設の今後を論 大理想の實現が日 本資本の吸收を圖

中の

▲大奴 000000000 兄

花丸也

고등 등 교 전

天元 8

36,166 39,520

36,266 39,572

36,493 . 39,656

36,950 39,891

23,905 27,482 30,037 33,103 36,968 39,918 42,444 44,482 46,584

23,971 27,696 30,092 33,141 37,229 40,002 42,592 44,506 46,677 24,002 27,781 30,171 33,253 37,352 40,044 42,695 44,528 46,748

26,216 29,259 32,062 35,382 39,013 41,442 43,731 45,993 48,273

26,573 29,509 32,180 36,003 39,408 41,947 43,924 46,037

☆ 前 二四留比二六分九 寄 筋 二四留比二六分九 一四留比二六分九

株式金捌 立一覧

いちおおこっ代に乳田

引所市況

七日前城)

23,524 26,786 29,590

- 4, 6.8 1 3 8, 0 3 8

6, 8 6 4 4 0, 4 5 8

7, 3 0 9 4 0, 6 5 3 8, 7 2 3 4 1, 1 9 7

9,929 44,700

9,996 45,488

1 0, 5 6 1 4 6, 9 9 5 1 0, 5 8 9 4 7, 1 2 0

1 1, 0 7 2 4 7, 1 4 3

2 1, 2 5 3 (240)

4 7, 2 1 1

4 7, 5 9 2

70、彩

2,220

2,257

2,271

1 3, 0 1 4

1 5, 4 3 1 2 0, 0 5 5

2 1, 1 9 7

2 1, 4 1 5

21,485

2 3, 5 1 4

2 4, 3 9 1

2 5, 1 7 5 2 5, 4 2 7

2 5, 4 7 5

3, 7 5 7 3 4, 2 6 1 4, 4 5 7 3 8, 0 0 9 5,237 12,116 19,081 25,463 31,074 6,068 6,086

19,772 25,579 31,525 40,442

19,856 25,646 31,843 40,565

20,823 27,315 33,293 41,571

21,658 27,763 34,281 41,873

13,305 20,616 26,419 32,478 41,223 47,649 49,276 13,569 20,689 27,303 32,624 41,338 47,951 49,585

19,924 26,075 31,964

20,478 26,338 32,147

14,138 21,307 27,576 34,002 41,644 14,188 21,657 27,588 34,278 41,866

15,104 21,944 27,927 34,419 42,152 15,162 22,015 28,186 34,743 42,185 15,687 22,016 28,546 34,797 42,304 15,725 22,364 28,794 34,823 42,377

15,954 22,618 28,960 34,996 42,632 16,311 22,897 29,220 35,227 42,648 16,467 23,004 29,254 35,376 42,887

16,689 23,279 29,268 35,550 42,985 16,710 23,296 29,277 35,730 43,018 16,717 23,372 29,427 35,766 43,577

10,877 23,419 29,463 85,966 43,979 17,071 23,448 20,686 35,986 44,372 17,099 23,677 29,836 80,438 44,471

280 17,497 23,738 29,980 36,520 44,478 280 17,933 24,089 30,259 36,802 44,505 218,033 24,116 30,317 37,125 44,547 18,042 24,536 50,576 37,996 44,740 1 8,111 24,544 30,336 88,055 45,142 1,18,417 25,317 31,045 38,666

12,337

12,781

12,798

12,897

13,105

14,078

14,349

6,400

6,456

6,760

7,066 7,349

7.447

7,489 7,522 7,582 7,640 7,734 7,786 7,833

8,174

8,871 8,906 8,915 9,222 9,329 9,490 9,493 9,630 9,853 10,280 10,302 10,797 11,090 11,165

11,591

45,625 48,435 .3,038 19,413 25,517 31,455 39,808 45,799 5,236 48,452 5,283 5,320 5,404

48,881

49,132

49,233

49,258

49,796

1,551

1,652 2,680 1,747 1,827 1,956 2,316

2,317

2,411 2,420 2,486 2,488 2,536 2,546 2,546 2,764 2,764 2,920 2,941 3,021

3,051

3,070

3,081

3,099

3,239

3,413

3,486

3,495

3,496

3,803

3,838

4,065

4,065 4,151 4,152 4,336 4,357 4,381 4,384

4,474 4,551

4,555 4,720 4,752

4,776

4,934 4,940 4,904 5,031

5,415

5,419

5,477

5,721

,5,839

5,908

5,977 5,992

6,020

6,078

6,082 6,146 6,207 6,377 6,381

6,386 6,419

6,447

6,469

6,619

6,633 6,646

6,726 6,895 6,905

6,914

9,990

10,018

10,150

13,549

13,853

13,866

16,905

46,668

47,181

47,202

47,236

48,152

ti.

1,480 1,483

1,501

45,416

五 四 (600)

40,582

40,874

10,454 14,314 17,016 19,118 21,171 7,187 10,889 14,589 17,051 19,124 21,180

11,715

7,313

7,510

7,518

7,519

7,849

8,051

市况

棉花

11,394 14,774 17,205 19,251 21,304

11,595 14,953 17,219 19,280 21,400

11,776 15,042 17,542 19,451 21,438

11,794 15,070 17,733 19,462 21,470

12,004 15,114 17,893 19,570 21,559

7,878 11,969 15,075 17,819 19,543 21,556

8,309 12,011 15,146 17,954 19,589 21,709 8,670 12,033 15,164 17,997 19,595 21,816

8,982 12,621 15,853 18,394 20,355 22,077 9,028 12,639 15,863 18,594 20,412 22,779

14,963 17,451 19,352 21,403

天二、公

23,578 - 26,805 29,622 32,570

23,580 27,089 29,648 32,651

23,616 27,243 29,662 32,664

23,882 27,422 30,032 33,010

24,165 27,802 30,336

 9,481
 13,022
 16,598
 18,743
 20,631
 23,086
 25,890
 28,932
 \$1,502
 34,935
 38,467
 41,263
 43,580
 45,814
 47,897

 9,484
 13,047
 16,615
 18,779
 20,721
 23,162
 25,990
 29,019
 31,691
 34,990
 38,525
 41,273
 43,580
 45,844
 47,970

 9,549
 13,242
 16,668
 18,808
 20,817
 23,121
 26,054
 29,026
 31,630
 35,146
 35,787
 41,316
 43,621
 45,880
 48,057

 9,591
 13,345
 16,698
 18,938
 20,819
 23,140
 20,061
 29,026
 31,537
 35,130
 38,810
 41,333
 43,663
 45,004
 48,177

 9,842
 13,442
 16,740
 18,949
 20,867
 23,173
 20,114
 29,217
 31,967
 35,279
 88,876
 41,417
 43,693
 45,094
 48,191

 9,970
 13,477
 16,763
 18,971
 29,870
 23,183
 26,216
 29,239
 32,062
 35,382
 30,013
 41,417
 43,693
 48,191

14,069 16,931 19,103 21,140 23,496 25,599 29,579 32,237 36,044 39,419 42,117 43,028

16,771 19,059 20,885 23,221 26,475 29,385 82,093 35,865 39,200 41,526 43,752 45,998 16,865 19,068 20,900 23,292 26,513 29,472 32,171 35,884 39,390 41,709 43,772 46,025

8,670 12,083 15,164 17,997 19,695 21,816 24,165 27,802 30,336 33,255 37,437 40,058 42,698 8,806 12,124 15,261 18,058 19,635 21,871 24,256 27,957 30,488 33,332 37,706 40,171 42,755 8,918 12,223 15,404 18,070 19,071 24,892 24,463 28,028 30,553 33,645 37,769 40,258 42,863 8,946 12,264 15,664 18,146 20,070 21,896 24,503 28,060 30,635 33,868 37,941 40,372 43,064 8,953 12,288 15,698 18,154 20,135 21,945 24,573 28,061 30,646 33,938 37,948 40,489 43,193 8,962 12,302 15,788 18,219 20,140 22,190 24,652 28,164 30,786 31,011 37,962 40,509 43,274 8,974 12,611 15,817 18,381 20,174 22,318 24,790 28,240 30,803 34,150 37,977 40,539 43,31]

 9,290
 12,692
 15,992
 18,636
 20,460
 22,908
 25,452
 28,607
 30,908
 34,218
 38,093
 40,637
 43,348

 9,411
 12,872
 16,184
 18,708
 20,471
 22,914
 25,536
 28,735
 31,381
 34,430
 38,144
 41,052
 43,439

 9,441
 12,912
 16,515
 18,737
 20,663
 23,012
 25,831
 28,883
 31,513
 34,658
 38,312
 41,131
 43,490

 9,481
 13,022
 16,598
 18,743
 20,631
 23,086
 25,899
 28,932
 31,512
 34,034
 32,034
 41,131
 43,490

 9,484
 13,047
 16,615
 18,779
 20,791
 29,103
 26,899
 28,932
 31,512
 34,034
 32,034
 41,131
 43,490

23,691 27,249 29,831 32,705 36,817 39,732

23,798 27,262 29,884 32,970 36,915 39,811

 24,652
 28,164
 30,786
 33,735
 31,343
 40,489
 43,194

 24,652
 28,164
 30,786
 34,011
 37,962
 40,509
 43,274

 24,790
 28,240
 30,803
 34,150
 37,977
 40,539
 43,313

 24,954
 28,478
 30,825
 34,153
 37,983
 40,637
 43,348

 25,244
 28,507
 30,908
 34,218
 38,093
 40,683
 43,400

標準設置。近

44,172 46,182 48,594

44,194 46,315 48,711

46,572

44,614 46,814 49,473

46,998

47,377

45,407 47,381 45,487 47,481 米. 第

45,687 47,663 全 国 45,601 47,663 (4,999)

45,626 47,827 東西常 45,815 47,897 宋子和 45,844 47,900 日安

45,880 , 48,055 45,008 48,177 0

48,287

48,314

45,844 47,976

47,663 (4,999)

44,000 47,080

41,007 47,167

48,848

49,231

49,278

49,851

42,358 44,394 46,510 48,810

44,404

44,630

45,228

42,124 43,901

42,184

42,228 42,244

42,388

33,255 37,437 40,058 42,698 44,539 46,833 49,413



誘書類作成日滿鮮通譯 滿洲國商 標 登錄日次民刑事訴訟 顧問及鑑定貸家貸地管理

辯護士

黑田實法律事務所

餘

切

事務所移

新信本

設電話三一五四四九番 (新京百貨店時)

瀚 按特中彩號碼列下自廣德三年一月二十二日起在各 棚 地代資所 (限得彩金未滿費百回者) 及滿洲中央銀 们各地源分支行 (限得常金在登百國以上者) 源类 國 杂免付得彩金(甲乙四三組執數相同)。 財 滿洲國財政部 康德三年一月十六日 政 1 1, 2 8 5 Ξ 彩 1 4, 4 7 9 部 登千四(1) **室萬明(1)** 1 4, 4 9 9 17,918 發 5, 6 2 0 3 8, 5 1 1 20,228 20,985 行 附令 把三多种数 之间接要数 26,402 26,745 金百四 (2) (流 於 四 (2) 5, 6 1 9 3 8, 5 1 0 民獎 29,296 5, 6 2 1 3 8, 5 1 2 3 3, 1 7 7 3 3, 6 8 1 彩 3 8, 2 7 4 %中 2 11 ld (23)

多千四(1)

2,487 3,206 3,207 3,407 3,418 3,523 3,962 4,344 4,480 4,558 4,891 4,982 1,352 4871 5,157 27,067 27,604 27,702 1,714 1,756 1,812 1,873 -2,097 彩 彩 /i 徐伽 (48) 7,316 8 1, 0 5 1 8, 2 0 2 號 2 7i W (2) 8,5 7 1 8,7 1 8 3 2, 2 4 0 24,450 1, 1 7 7 32890 2,124 9, 8 2 1 3 3, 0 0 7 さんだお島駅東つきぬき お大への十番 五屋

8 9, 5 4 3 4 0, 8 0 0

18,713 25,436 31,060 38,379 豆楽劇場

民刑訴訟 タイプライター印書土地測量並製圖、邦文 本不動產登記

十五日 入場料階下〇、五〇 封切

戦所部栗倶談講判裁の子々奈優女 會大師法影風疾

演主門衛太右川市・ーキート・ルーオ

19,093 20,946 23,310

部 十六日より 四日

十六日封 春座 春の オレダス船大田蒲・年六三九一 タス田蒲 間 譜春迎茂加下竹松



建艦通告案可決

十七日技術的諸問題を檢討

その他の防遏は既に達す

英は日本参加を要望

い時に日本が

ずは遺憾十

國會議の第

H

中川

【頁二十刊夕朝紙本】

尤の壐

十五百六千四第 上記は壁州城址踏査の概記であるが、金の與りたる當初の戦闘に歴史的光彩を留めたる有名な古戦場たるのみならずまた祖先の遺勳を誇つた築がまた祖先の遺勳を誇つた築

(-)

又たるり、これのでは、一部戦あり、露出す。一部戦あり、露出す。 又た金史地理志に左のごとき 船いで進み、選に岸に登り 職と珠出店に選ふ、會ま犬 風起り塵埃目を蔽ぶ、風に 乗じて之を撃ち、遼兵潰れ 変ふて沃渭礫に至る、殺獲 計ぶるに勝ふべからず」

跡たるを以て此に、浸に建てて州と爲す』云て、「天育は第二世太宗時代の年號時子河は松花江、珠麟店は伯都訥である」上記は見聞そのままと、本からの抄摘である、「」は余の註記である、他方にわたる記記は後日に譲る。敢て一言此にいきよりを書く石頭城址。此の城址は、新京、哈爾濱間の一停車場三京、哈爾濱間の一停車場三京、哈爾濱間の一停車場三

『十月十日石頭城遺址を見る一周約四千米突除か、土 民等に耕作されて唯だ北面 の東西に亘たる一壘址が、 はつきりしてゐるのみで、 高さ丈餘に及ぶところもあ り或は六、七尺のところも ありて西南の一角が當時の 北にも同じく瞭望所あり、 のてゐる、四方に門ありた と目測さるるが耕作地とな 駅濠の跡は約三十米突の巾 八戸の部落に休憩し、村民 らに曾て古銭など掘出した らに曾て古銭など掘出した の事なきやと問ふに、五年 前二個發見したりといふて 余に示す、 字の熙寧元寶 と、階書の治平元寶で、朝 れも宋銭である、余の熟視 れも宋銭である、余の熟視 せるを見て余にやるといふて と、踏書の治平元寶で、朝 た寧江州治のあつたところで 提同軍の司令部所在地で、又 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同 に置き、縣一を統ぶ、混同

を占め以下延吉、八道 近めてゐる、尚ほ各驛 が況は左の如く龍非が

受付六六、二二八袋競け、七七七袋であるが、七七七袋であるが

り、摘譯すれば

間島 地方各驛 昨年穀物受發數量 明月濟、

月三日まで三ヶ月延期する旨を二月三日までの所を更に五を二月三日までの所を更に五 1 いためと言はれてゐる は 意の如くでなく又國内に於け 情 気を表した、右は銀貨の國有が 上 定例閣議 月三日ま で延期

曜

且の意味は今日の第一委員會と は余に対て昨日貴全権より通達 を担は何を提出せり、石田協会 できを決定し、名司と、第一委員會 は余に對し日本全権の決定に は今を選種は自翻に引続き参加 できを決定し、第一委員會 を出版したなきを は余に對し日本全権の決定に は余に對し日本全権の決定に は余に對し日本会権の決定に を出席の全 を出席の全 を出席のと との を出席のと を出席のと との を出席のと を出席のと との を出席のと を出席のと との をはまる。 にはまる。 にはなる。 になる。 になる。

注目を拂つて居るが日、英、米 三國に於る現有勢力即う艦総 本七十萬噸、アメリカ八十萬 本七十萬噸、アメリカ八十萬 の差は僅に十萬噸程度であり

實質的に日本は對米六割の劣

る、從つて之が完了の昭和十 費による建體計畫を進めてゐ

銀貨流通許可

B

は日本州五萬噸、アメリカ州補助艦のみの比較をみるとき

世一ぜねばならぬとして所謂自主 安全感の確立に萬全の策を講 安全感の確立に萬全の策を講

余の日記より左に摘出する 落の西方に残存してゐる。 でたる石城鎮と稱する小部

围

架行

は我永野全權宛左の如き報告會議經過に關しモンセル議長本の脱退後最初の第一委員會本の脱退後最初の第一委員會

日本の参加を希望せり

建艦競争

議會演說奏上

國立金精鍊所

三月着工

上さる

新年最初の理事會を開催、高前十時より中銀クラブに於て滿洲特産中央會では十七日午

初年

切望する

米兩國の今後の態度に多大の「東京國通」軍縮會議決裂に「東京國通」軍縮會議決裂に

以來條約許容海軍の建設に向と萬噸、イギリス州九萬噸で

米兩海軍力の

立金精錬所を設立すべく計畫の獎勵統制の目的を以つて國際職務制の目的を以つて國際

計畫 圓を支出に決定來る三月頃着 「事業」中の同案は本年度豫算より精 「中度經費は百五十萬圓」

ですところあった 電での各事業に就き打合せを なすところあった

十一錢である

七百二十二圓三

ル議長報

告

(日)

下各閣僚出席、先づ慶田外相に即に於て開會、岡田首相以になる時會、岡田首相以に東京國通』十七日の定例閣

電 震相、望月遞相より政友會內 部の情勢に就て報告あり對議 部の情勢に就て報告あり對議 では、望月遞相より政友會內

臓相の演説草案を審護決定 情勢に関して詳細なる説明を する説明あつた後首相、外相 する説明あつた後首相、外相

人別内譯左の如くである 原德二年度一ヶ年間に於ける 原徳二年度一ヶ年間に於ける デオオスノスイカ中マド米英日滿 ン1ラエ1イタナ ライ 別 マスン1ルスリダ図ンソ図図本図 1トダデウ 1 クリ ンエ ア 1

四四二六五五三四二二九〇七三〇 れ、當時稀うしかつたものだにおいてさへ、學校看離婦を においてさへ、學校看牌婦を でゐるのは闊東州内や滅鐵附 のひ十年前には大連 においてさへ、學校看牌婦を

日より十二月までに至る雑穀 月より十二月までに至る雑穀 の 總計は受十一萬九百六十三袋 の他の關係から保健上殊に必 でも先立つものは金、からし を設備には少からぬ經費のか がらでもあらう▼何をいつ の他の関係がら保健上殊に必 該に結構といひたい▼一日に大力を致すことになつたのは 要は學校全體が目 0

來の上東京に赴任の筈である設はとで大連に南つた、兩三日大連に常在、一旦奉天に歸民人は十七日午後一時十九分就長は十七日午後一時十九分 佐原局長 濱綏線視察 **十五** 木澄子 **講談俱樂部所報** 監督 仁科熊彥 壽女木多呂九平原作 主演 加藤柳美記解



伊澤滿鐵支社長

汚用命は

新京組合銀行の昨年末に於る 野形交換高は國幣の著しく増 見たが之は鮮銀券の回収に供 見たが之は鮮銀券の回収に供

手形交換高

知名の土に迎へられて着京 松岡滿鐵總裁一行は十八日午

松岡總裁着京

敷ブ桐 物ラ簞 イ・ D 1 市● 和洋家具・かブラッグ 支店 店 店 新京日 ユウム・織物 ルピ 天 京日本橋通四十六天漁港第二三九〇四番第二三九〇番 数〇番七香

脱退後の對外 關係業者 貿易

はつに艦逐降

海爾山西縣

指職

ヘイギリスは昭和六年度以降 毎年乙級巡洋艦三隻、驅逐 毎年乙級巡洋艦三隻、驅逐 を續け補助艦の補充計畫に を續け補助艦の大な会計量に向つ を調して遠大なる計畫に向つ を調が、 のとは思はれない

老朽艦が多く、昭和十六年には三隻、十七年には八隻の建造を必要とする外航空の建造を必要とする外航空に追はれる時期が近づいてに追はれる時期が近づいて

東新京に開 【東京関通】軍縮會緩脱退後 おは左の如き見解を有してゐ ることになつて居る、家畜の ・ 大體東站の附近を選び ・ 大體東站の附近を選び ・ 大體東站の附近を選び 大影響を及ぼすであらうとの の報傳へられるや支那紙は一 の態度如何は結局日本の對支 如何を終始注目しつつあつた の態度如何は結局日本の對支 如何を終始注目しつつあつた 常な關心を以て同會議の成行 と 関 しから支那朝野は均しく異 使用條例制定 日本の對支政策は 積極的變化 支那紙の軍縮い 料その他 べき限界にあるので日本の べき限界にあるので日本の とは観られず 文米國は棉花輸出先たる日 女に對し自由經濟を犠牲に 本に對し自由經濟を犠牲に してまで日本に障碍を與へ さ 限界にあるので日本の 賢買は勿 例はこれに關する手数円頃から開始の段取での論宿泊も出來ること さる 脱退評論 エすることとなつたと傳へら る丸で離滿した 松長官離滿

家畜交易市場を

采开

通報協定に

極力主張して

地外変界で

断乎不同意を回答して來たと非公式に同意を求められたが

ŀ

ラ

不同意を回答

THE .

我がオブザード

ヴアー

を

居るものだ、日本の参加如居るものだ、日本の参加を可能をも日本の参加を可能をしては将来日本が態度をとしては将来日本が態度をを切望して協定に参加する事を切望して協定に参加する事をがしてはいい、會議を対してはない。

特別市公署では第三十二回自 治委員會例會を二十日午後一 時から同署會鬻室で開催 一、新京特別市公告式條件中 で正の件 一、前市營電設家畜交易市場 使用條例制定の件

二、改

各國が一

四七十五錢で前月及び前年同日に比し増加してゐる、國幣による交換高は二千九百八十八枚、借方五百三十六萬一千八枚、借方五百三十六萬一千八枚、借方五百三十六萬一千八枚、借方五百三十六萬一千八枚、計二十五錢でいづれも激増を示してゐる、鈔票では五十一枚 七十七枚、借方九百九十一萬國幣による交換高は一萬九百を狭少ならしめた結果であるので一方鈔票流通の範圍を益 -一萬八千九百七 貸方

十二百三十四圓三十八銭、貸してゐる、鈔票では五十一萬六

零三新 天十京 團 体

ア名 十七日午後十時酸早名 十七日午後十時酸

商標登錄總數

儒 交教部で本年から 塾校衛生の普及に 数めることになっ たやうである、學 校衛生の必要はい ないが、建國早々の

是非

本日 土曜日

·午後一時 いな 0 會

で社交ダ 1 ス

0

主催 一般公開

アオキ・ ダ ンス・ アカデミ

___ п

御來場の 程を! 會費二・〇〇 當日でも入口に有ますダンスの御相手申上げます

扇

告 0 御用 命は 電話三、三三〇〇番へ〇

廣

児 科科 医学士

松木亭 ſŒ

入院隨時 長 35 電三七一・六五三〇番 野 五百里 宏 **;**

医学士 岩

小豆は受四百十二袋酸涂無し十四袋、酸二千四百六十三袋 百二十四袋、競七萬七千四百が其の内大豆は受十萬四千三 なつて衛生 が、

樂觀

サーバーター カーボーター カーボーター カーボーター カーボーター カーボーター カーボーター 大大 の にかけて何れも大々的に論評を加へてゐる、「海軍會議脱退と 支國」と云つた見出して掲載された論説の内容は各紙共大 向しむ7日本の歴史出出して掲載 された論説の内容は各紙共大 らしむ7日本の脱退は既に 一歩である、此結果は日本の 展別は大平洋をして日本海に 大本の事は必然的である、從つて支那國民は益々一致團結して大力の壓迫に當らればなら 愛路村計畫

(ハルビン関連) ハルビン水 連局ではハルビン、同江間の 自動車道路沿線に愛路村建設 を計畫、一月十八日より四十 日間に亘つて愛路工作班を沿 道各地に派遣し、愛路大會塞 では、水ビン水 新京組合銀行

【上海十七日強國油】 関際裁 対ることに決定したと傳へら れる右は胡漢民氏の歸國と重 大關係のあるもので胡漢民氏 の中央入りの譬には輔佐役と して活躍する事になつた模様 旬になるものと観られてゐるである份歸図の時期は四月初

王寵惠氏歸

スロパキア

江間に

時五十分領會した

知らないんだ」

常黑 出

身四

閣

僚

連

の大廣間に

聚德納、

林、冷寒觀、萬

▲上海為替

爲替

場

新紀元を割す

は斯様な複

が 存 が 様な複雑 が 根な複雑

非常に立派に行っ

は我々はちつとすっても、失敗なりても、或はそのよう

聚七十五 自八、四郎

とより、わらなるこにものでき

問題はこんな事でダル/ 村でも高千の連中此方は日本 人中でも電が心許ない様な頻が 大中でも高千の連中此方は日本 人中でも高千の連中此方は日本

ーのつか生は同じい 強とででして集配

時趣はを論辛す事た務び設む中 あ形げが出 のか実勵財苦るの、を北ける央 る式 委 出 原り祭行政を事行今處平河たは、で 員 席 即1 即1 即1

開しに民を政後理天北め地 即左

二三三三二 九一二三四 五五五〇〇合

式

株式相

短期場

地位に置いて、それも をそこにもつなく。ただ、悪史は進展して行 が、とも言へるものなの。 を表の対異期には往々とのやう が、ことである。近親関がとしたあると、 が、ことである。近親関がとこにあると、 が、をつびに見得ないである。 が、歴史は進展して行 の一要素で調査に於ける議員値の個々人の日常 をそこにもつなぐ。をれる をそこにもつなぐ。ただ、悪史は進度して行 をそこにもつなぐ。ただ、悪史は進度して行 をそこにもつなぐ。ただ、悪史は進度して行 をそこにもつなぐ。ただ、悪史は進度して行 ををこにもつなぐ。ただ、変砂は ををこにもつなぐ。ただ、良 ををこにもつなぐ。ただ、長 ををこにもつなぐ。ただ、長

● 魔物の巨毬(二) 最近(九日)天津の支那駐屯 軍では根本新聞班長の來津を 迎へて北支武官會議と云ふの を開き其結果今後の大體方針 が左の如く決つたと一月十日

新政権を盛り立とよやるや りにしなければならないと 思ふ と强調して居る、何處かで聽 は人考へると過去に於て屢々 に發せられたものに酷似して に發せられたものに酷似して 一結果に成るとも斷ぜられま いし、先づ當分事を荒立でず に無視的態度を採るといふで は余等も赞成である

又一方日本では武藤中佐の視察報告に基き近く陸軍省参謀 本部の首臘部會議を開催支那 駐屯軍の强化問題を護すると 云ぶ記事の後に右武藤中佐談 として北支での右方針と大體 一日滿日)

できる軍人は一般に世間でいますね」 を知らないといふ評判がごを知らないです。私なども その一人で考へて見るとこれまで簡分と世間を知らないです。 れまで簡分と世間を知らないったっくであったっなってみて、世の中の動 になつてみて、世の中の動 といふやうになつてゐるもの かといふことを知つて、ッ かといふことを知つて、ッ かといふことを知つて、ッ

川席、蘇爾

元は

同日

一〇二十二次 二二十二次 九五〇五二 九五〇五二 向替

出

リスカママ ワマエナ エセイ イタ

電內七四三

向

'ナョヮ ノ ヵョヮ シ

第一回資 回資 同 同 同 同 同 百 百 百 百

二九弗

ーナ

醫

・ラレ

00 CO

| 志子||三分

慮

漫

等

(四)

い経験があるから 縮杞憂を禁 が載つてるが其中に左の如き 間答がある。

いふことである いふことである いふことである いふことである

一、東西に (大東市) (大東市

を を を を を のであつた、此割時代的舞 を を のであった、此割時代的舞 を を が は で の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。

社

說

縮脫退當

H

水野全權の演説

であると概られてゐる。これを十三日、高橋殿相に言はせると「解散は風吹くまゝ、我程は急先鋒じやない、萬事成行委せさ」とある。梁讔院の反對黨として對立してゐる。といふ不自然な政情を以て召集された第六十八議會である。解散によつて總國學が行はれ、それを機會によの數年來鬱積してゐた政界の別化實現を期待するものが多いであらう。.

五日の軍縮會總第一委員會に 五日の軍縮會總第一委員會に 帝國とか為上世界中華國政府は世界中 帝國政府は世界中 帝國政府は世界中 帝國政府は世界中 帝國政府は世界中 帝國政府は世界中 帝國政府が會議に多加した大第である 大倉官に出一致と変強けて本語の政府が會議に基本所然軍和維持 を選ばすることを親し、 本有信念に出發した大第であるとし、 で言ふを要とする。 に基づすることを得ない の軍 を要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 で言ふを要とする。 である然

瞬し、ワシントン、ロンドン原條約に於て確立された原則は根底から覆されるで 電力を標準として海軍力の 電力を標準として海軍力の を實を圖る他なきに至るで あらう

を提出散底的電情縮小の途行 を提出する所以である、帝 の範疇では共涌最大限の原 に設定をでは一般である。 を経行に設定した。 が承認さるれば直ちに解析と に、 を経行に設定した。 を経行に設定した。 をでは一般である。 をできるが出来るだけ低 のの海軍を がのの海軍を をできる。 をできるが出来るだけ低 のの海軍を をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をで

動に對して.

國以來の發展著しき 断音産関係者が網羅

意義な

不郊外の西 五日〇 步奇引 金

市 况

月商

北京後場)

豆粕

VIN.00 場

下、第六十一回社債總額・內 一部償還ニョリ昭和十年十一 月二十日其社債總額・左ノ如 月二十日其社債總額・金二 十六萬二千圓 十六萬二千圓 十六萬二千圓 一部償總額 金二 十六萬二千圓 十六萬二千圓 十六萬二千圓 十六萬二千圓 十六萬二千日 十六萬二千日 十六萬二千日 十六萬二千日 十六萬二千日 十六萬二十二月二日登記

新京取引所市况

一、代表社員/氏名 一、代表社員/氏名 一、社員/氏名住所出資/抵 類價格及責任 無限 金三萬二千圓 無限 金三萬二千圓 無限 金三萬二千圓 無限 金三萬二千圓 無限

一、第二十九回第三十九回社 一、第二十九回 計價總額 金九 第二十九回 計價總額 金九 第二十九回 計價總額 金九 第二十九回 同 金二百四十 一萬圓 同 金二百四十 一萬圓 同 金二百四十 一百寶會社設立 洋拓殖株式會社變更(支 和一十二月十日登記 一次 一十二月十日登記 一次 一十二月十日登記 一次 一十二月十日登記 一次 一次 一十二月十日登記

州金天金天金 北四字四小八 門千台千西千 一種汲家胡同第一九二 一個 中村 一雄 一個 中村 一雄 一個 中村 一雄

一月 質性格 一、社員ノ氏名住所出資ノ種 一、社員ノ氏名 一、代表社員ノ氏名 一、代表社員ノ氏名 一、代表社員ノ氏名 一、社員ノ氏名 -九番地 西尾一五郎 昭和十年十

州北門裡汲家胡同第一九二 奉天宇治町十三番

支十本商品

株式會社大信洋行變更(支地ノニ 奉天葵町二十四

記念公會

(支店) (支店) (支店) (支店) 本店す左ノ地ニ移轉ス本店す左ノ地ニ移轉ス本店す左ノ地ニ移轉ス本店す左ノ地ニ移轉ス本店す左ノ地ニ移轉ス

料場入 學生軍人 壹 三八五

名連者演出 宮壽浪天桃宮宮宮宮 用用用用用 若左近近近

近松奴月夫燕月勝

0 3 天• 籟 0 3.

ts

との 確信

を持

15

演

說

に事念するものである云々に事念するものであるを以て耐國の利益 以來翼察は日本と特殊な關 以來翼察は日本と特殊な關

一、 一、 一、 一、 市號 市號

散業

登記

一、支店

一葉で職區内の諸

滿洲獸醫畜產學會

天

【東京國通】休會明け議會に たける高橋磁相の財政演説は がその内容は大體豫第次の 明に止まり母税問題に脱て決定、 世野に上まり母税問題に関して は單に之が時期尚早を述べる 程度で積極的意見は議會に於 ける質問に譲り演説に於ては 差整へる模様である、即ち演 説内容及び順序は大要左の如 府は何應欽を持の時 電光石火的早間 處長官に任

総沿線は勿論滿洲國廣汎 関東局に本部を有し州内

約三百名を有する

日本は國防及はり支那の國内関

見學及昨年秋奉天にて實施し

見學及昨年秋奉天にて實施し講演會を開催し獸疫研究所の

大な關心を

畵の公開あり、當日の出席所藏の軍用犬に關する活動

各

况

唯一の獣醫畜産學會では來る 一月二十五及二十六の兩日奉 天大和ホテル及竊鐵獸疫研究 天大和ホテル及竊鐵獸疫研究

議

會

4

相

0

外交演

說

草案內

のりとして海山地であるこれが北西治運動の裏面に

多大の

つ次をつこ以

図 (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國所) 大変の開明にありとして各方 (東京に於る日支會 (東京) (東京) (東京國通) 廿一日再開劈頭 (東京國通) 廿一日再開劈頭

事は欣快である事は欣快である事は欣快である。 事は欣快である 事は欣快である
「田ソ関係 北鏡護協定
市の一部は除去されたが、
等の一部は除去されたが、
等の一部は除去されたが、
等の一部は除去されたが、
のために一方に於て財外関係阻
ののお懸案を解決すると
同時に不必要に集中せしめ

ちれた極東赤軍の後退を に多むるものであり 特選に努むるものであり 特選に努むるものであり 特選に努むるものであり 特選に努むるものであり 特選に努むるものであり 特選に努むるものであり

現地案なるも のであ 定のた 華 首成哲

複雑化せ

滿洲國々際

過去は躍進、

轉の

構の首脳者に任 政務委員會 ◆ 一月三八日 一月三八日 一月三八日 一月三八日

鮮魚小 物(一石值段) 期(混合百斤值段) 期(混合百斤值段)

賣相場

ベオロイ鯛製鯛鯛鯛と百 欠 く田が

○市區金高金同金同金十大金同 東番東四知四上四上四三連四上 洋外州千縣千 千 千 市千 拓ノ旅園高園 園 台山 一萬二千圓 無限 ふさ 台山屯三百七十番地 用邊 行 有限 田邊 健國 田邊富美子

金一萬六千圓 有限 田中重太郎

殿立年月日 昭和十年十十年 新京老松町四番地の「一、家屋賃貸借二十年) 合資會社老松ビル

一字獨步。大浪

月十 每 八日 Ħ より 日 時 開

闘氏のお目出度

0)

市合戰

桓仁縣北方で

を遺棄逃走した、斯くて嚢に之と協力包園猛撃したので紅

れて北方に逃走せんとするを 強さじと乘馬の酸足をかりて な

戸外デーの必要とするものの 多くは家婦にあるとされ瓦房 店も行商の魚菜屋を廢して市 場を設け家婦をして一日一回 以上の自然戸外デーを決行せ しめ満洲生活を讀論から實行

イト氏より他の學校と同様参 を水に流す事に決定、該問題 を水に流す事に決定、該問題 を水に流す事に決定、該問題

回数 領置 10-9 五元 10-9 五元 10-9 五元 10-9 五元 10-9 五元 10-9 10-10 1

は最死一等兵赤井定男は ・ 大四日午前七時より ・ 大四日午前七時より ・ 大四日午前七時より ・ 大四日午前七時より ・ 大四日午前七時上り ・ 大田田子 ・

数は五千百五十五戸人口二萬十十四月五十五十二月末十四月口数・一龍井岡通」昭和十年十二月末十四月日数・一

長近鏖儀一氏、石山憲一兩氏無陳陽義基氏は遞信局經理課

本人に、金字域、 「本天國通」既報、職致せる 事〇隊長以下東邊道十勇士の 市ひ合職のため十四日夜半よ り折柄の酷寒を働いて勇躍出

鐵旅客サーヴイスの向上と旅 一回旅客科長會議を開催、國 中 の前日に亘り第 日 の前日に重り第 日

友多數を招き披露の宴を張る | 夜襲を敢行、匪賊は虚を突か日大連神社に於て擧式同夜六 | 縣城北方地區に於て宿管中の長女良江さんと婚約なり十八 | ○○隊は十五日午前三時桓仁

戸外デーの必要とするものの 個人の健康上に闘する事就中 個人の健康上に闘する事就中

林好、占山の人林好、占山の人林好、占山の人は出る。

國通」田村部隊の

二月三、四兩日總局主宰て

(瓦房店支局發) 瓦房店にお 力と相當の費用を要し殊に本 力と相當の費用を要し殊に本

吉林文光中學

校長の陳謝で圓滿解決

緑林好理を

戸外デー

科長會議開催

根所併置の工事を急でゐたと は頭底充分なる機能を發輝すること能ざるを以て、豫て周 水子航空無線局に無線通信監 水子航空無線局に無線通信監

て大連國通」 端銀社員會では 十六日午後四時より社員クラ で於て十一年度社員會幹事 長推薦打合會を沿線各地より 最推薦打合會を沿線各地より 是推薦打合會を沿線各地より 果總務部人事課長石原重高氏

せるに拘らず效果擧らざる状 無方針なる爲相當豫算を計上 無方針なる爲相當豫算を計上

ある、 國籍別月數人口を示せ ・ 千三百四十六人の減少で ・ 千三百四十六人の減少で ・ 千三百四十六人の減少で

ば左の如し

中央通り大阪商船機

傅家お

過十十二

安東で一萬(安東國通) 満人軍警に對する慰問袋募集に就き安東省公督では七千袋、協和會、木業公會、採水公司、教育會、同善會に於て一萬(一袋五十錢)

事務局

は、北江五萬の滿鐵社員は一日平 二百三十個餘の即を産出して 地一人中の割合で死亡しつつ 居る之れが販出については何 あり、大部分病死でその約七 十%は肺結核である事が判明 した、社員會では滿錢創業三 十周年記念事業の一ともて肺 結核撲滅の方法を講ずる筈で

兩會議開催

協和會奉天

無線監督機能を

周水子

監視所二日より業務開始

分會指導方針並に指導工

を推す

石原課長

志願者制に變更

有能秀才を拔擢質績を即す

秋本電話店

新京キネン前

江

後料魚

電話三一二八二八番

電話と金融

看板

は

GAMMo福海商事

新京浪速町ニノー六

融

戦闘Ⅲ─□四日

川海島

新京の底廉

金

の留學を

催する事となつた、護題左の 九、三十日管下主事會議を開 九、三十日管下主事會議を開

局では康德三年度工作方針並【奉天國通】協和會奉天事務

幹事長に

とび答してあるが、大連市立實業 してあるが、大連市立實業 してあるが、大連市立實業

開 に呼びかけ裸體操體護運動を 園を投じて周波測定機の準備 に呼びかけ裸體操體護運動を 園を投じて周波測定機の準備 に呼びかけ裸體操體護運動を 園を投じて周波測定機の準備 に呼びかけ裸體操體護運動を 園を投じて周波測定機の準備 に呼びかけ裸體操體護運動を 園を投じて周波測定機の準備 とろ、この程設置置一萬五千

満鐵社員は

日に一人半宛死と

原因は結核・撲滅運動起る

裸体操聯盟結成

【奉天國通】十三日通化縣に 一百に餘る紅軍匪を惱ました が衆寡敵せず東邊道の白雪を 血に染めて全員肚烈なる最期 を遂げ、皇軍の華と散つた東 と遂げ、皇軍の華と散つた東

で東京 と同時に満洲事變に 一日 単曹に進級、第○○隊 一日 単曹に進級、第○○隊 一日 単一に進級、第○○隊 一日 単一に進級、第○○隊 一日本東伍長に、同十一月 一日本東位長に、同十一月 一日本東位長に、同十一月 一日本東位長に、同十一月 一日本東位長に、同十一月 一日本東位長に、同十一月 一日本東過道肅正 で東北東過道富正 で東北東過道富正 で東北東過道富正 で東北東過道富正 で東北東地域。 一日本東地域。 一月本東地域。 一月本地域。 一本本地域。 一本本地域 一本本地域 一本本地域 一本本地域 一本本地域

廣く全満各地に呼びかく!

外週間を機とし

5、共同販賣大豆取扱手敷料 今般國際運輸と協定せる共同販賣大豆取扱手敷料左の如し、但し本金額中には大豆受入手敷料、前渡金の金型、局支給手敷料、前渡金の金型、局支給手敷料、有質量の金額の金額のでは大いのでは、 改良と 兄 共同販賣

被査料を含む

り最容線迄の運搬は大體左の各組合に於て取纏め生産者直接これに當るか奥地販賣所よ 五、搬出運搬 三五圓五二 三道壽 三五圓五二 三五圓五二 三五圓五二 三五圓五二 滞搬組合の組織

を所有する者を以て共同版 | 二百四十八圓三十六錢の版生産者及附近住民中牛馬車 | 三二三、四七〇斤、一萬六 延吉縣大豆改良實行組合に於は和龍縣德新、智新兩社及び 三二三、四七〇斤、一萬六千て行はれたが右二日間に於て

島縣出身)は重傷を負っ

東瀬軍曹

尙省公署側の第一回共同販賣 との間に料金其他所要事項との間に料金其他所要事項 選搬契約の締結 前項運搬組合長と國際運輸 が可運搬組合長と國際運輸 機闘の裁定に基き運搬を延を豫知したる時は所轄警備 っ、 警備費用は生産者

好なるものであつたため今回 の取引上相當效果あるものと 信ぜられてゐる 人による異品種及び夾雑物の とになる、尚共同販賣大豆は 音は悪徳仲貴商人のため普通 合は悪徳仲貴商人のため普通 一石につき二升乃至三升を利 せられてゐたのであるが、此 共同販賣によつて右の鄭を全 く排除し得たのでこれを見積 れば石富り七、八十銭以上の 個四銭位で

電話商會、最(3)大七〇〇

而して從來地元の雑種卵は一 え上が一 銭で交附して居る 一個金四銭で夫れ いが其價は五十グ いが其價は五十グ - XXXX

用されると各家庭に尊重されるが銅纜卵は新鮮さにおいて安心して使また滋養において安心して使 趙尚

【大連支局】関東遞信局管内に於ける簡易生命保険事業は 漸増的に極めて順調に淮展し つゝあるが本年十一月中に於 ける成績は左の通である 十一月の成績

質問 財付家族的に優遇 郷水煖房、浴室其他完備 温水煖房、浴室其他完備

土地

御宿泊並に高等下宿

萬屋旅館

日本橋通八〇ノ三(新京樂園園) 個話 3 三00七番

融金產動不

部融金事商福丸

各室六疊一間押入付

家屋

電話

介紹御宅住 錦店 理管產動不

航會教光金四五通條一東京新 社 成 萬 番四八八四3話電

代具家と代貝間

豕屋

な

i de la

邦文 かんピスト奏成

米人 下宿致します

震話(3)二〇八六番

カネタパン店

二四二五霞

(醉舍時)五二

商官學店應校

達用饵

通条二

京豐樂路(藥局隣) 有別人 一員 見習及營業部員 書持參面會午前中

電気の御用はイ條原間 常道 具とダー闘

(1)新規契約高

0

| 大字山東側地區の山寨五を焼っては大連中央六一件、新京中地では大連中央六十一件、新京中地では大連中央六十二件、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地區の山寨五を焼き、大字山東側地区にある。

右口鞍山及鷄冠山の雨局に (11)十一月末現在契約受 (11)十一月末現在契約受 持數 持數 持數 方面 中數 持數 志匪を 彩 故 100gs N1 * L 0

電話 東川 公益社電話簿名義其/儘仲介謝絕新京百貨店二階 新京百貨店二階

東三馬路無線電臺下東三馬路無線電臺下東三馬路無線電臺下

本合へ

特別廣告

を雇はれるなら

度

市央通一五(裕泰號)內

一面街二〇、二九

保險 149·XEI 145·34E·人) 保險 保險料 保險金 - 一月末現在契約受

(市價と共同販賣の影響を受斡旋を行ひ販賣價格は市價、

求に任せて居る、即

(1)新規製 エ・コエニ・大八二・九〇 三六二六十八六・六四〇 四〇 規契約高

合計三十 險保 INT

色 阪京 海技町三・三ノ三・七〇仲屋 海技町三・三ノ三・七〇仲屋 一大三ノ三・七〇仲屋 一大三ノ三・七〇仲屋 一大三八三・七〇仲屋 一大三八三・七〇仲屋

人船町三丁目一

金

融

は

b

•

久

公債債券買入

・電話(3)三十つな事

朝鮮銀行機 新京鍼灸治療院



PL.



GH曽)一個洩れなく差野日治(赤臀)コナミルク一罐 ·區域·全滿洲 上げます 昭和十一年三月末日まで



代 用 罐赤

1= 最 適・ 用 V 方 簡 便・ 値 段 b

清水鍼灸院

新·東三茶通七五 高信買 及演権

街ヤイダ番の八二五国話電 安くて美味しい ●梅ヶ枝料理 割 乘 其他一品料理 御一人前二 意 合 樂園 宴會 百人

七つの

総官心血の問題を一 初心者に運轉手免許 自動車問題

を責任保證の為本書は全國記む▲東京府田無町▲東京自動 百頁沒将共特割引二間五百題五百題五百題五百題五百題五百題五百題五百題五百題五百題五百 目目目目

時院 新京ダイヤ街老松町一六朝日瀬 ・ 京 科 院長 肥後弘子

產科婦人科增設 **花柳病科** 女**医** 木村

曙町二丁八幡(3)六九〇八巻

番の五五六(3) 話電 大和自動車運輸 運 ●請負及貸切● トラツク **■三七五**(3)**■**五ノ三町船入京新 社會資合融金和昭

はれつぎ

恩給 新京入舟町二丁目九番地 ポシン商會 利秘密速時立替 出張所ハルピン 融金 康德二

体育

あり、第二回總會は康億二三ラに於いて開かれその新しい成立を決意せるものでしい成立を決意せるものでしい成立を決意せるもので

大 種 目 (東京)第一 (京城)第一 (京

かずモヤカマシイかはオ

三、第三回東洋體協總會

日本立教

助日記念日滿交驪競技が成 ボーツ關係を正すべき儀禮 がも乗れて滿洲帝國皇帝御 は死の一部誤まれる日滿ス

なる歓迎を受けて盛大な交本各スポーツ團體の心から

鹽城、

行門四門

各地の競技會を通じ、日滿 瞬間青年が青史に輝く兩國 東國青年が青史に輝く兩國

地球城府都京地球

日日日滿負

成



今は既に戰國時代ではない 社會の秩序を亂す

も亦必要であつたでせうが、 た駿岡時代には敵愾心の養成 た戦団時代には敵愾心の養成 今は昭和の聖代です、殊に世 界各國ではあの恐ろし

△ マア 東イ京長京東 京木 京本 京本

ツ城府都京ケ

内容的には餘り觸れず儀禮 ・ 、 、 所とり、 所とり、 所とり、 所とり、 所を のであるが のであるが

れたのである。(詳細月報は、規約の決定その他具體は、規約の決定その他具體は、規約の決定をの他具體

一大大大将

滿滿滿日 루투류

禍

洲國

第十號所載)

日本明大

滿洲國

全

京

京都

五、〇〇 子供の時間(大阪) には中斷す) には中斷す) に大連引續き新京) (大連引續き新京)

○ エュース (東京引演き新京)
○ (東京引演き新京)
○ (東京引演き新京)
○ (大連引輝き新
□ 京) 舞の演藝
□ (レコード) 番 〇、四〇 建國體哲 一、〇〇 白天演奏 一、計判州 唱 月 郡 月 郡 一、三〇成人講座 別二、五〇〇 一、五〇 經濟市況 (東京) 一 〇〇 ニュース (東京) 一 東京兩國國技館より中 一 東京兩國國技館より中 日用品値段(瀬語) 十八日(土曜) 新京 放送局) (東京) (瀬語)





(後六・五〇)

宮内鎭代子さんのピアノに

ノ協奏曲

(第四番)

ノ協奏曲は、 ーヴェンの五つのピア 九つの交響曲、

作品である、そして ト長鵬協奏曲は、

八〇二年より一八一四年までエンが、これから第二期(一 ノと管絃樂の凡ゆる形式を書 彼はピア

梅は北野の天神に、花は八 事に榮えしあの梅は、サッ 事に榮えしあの梅は、サッ ・ とまる驚程の かよったやキ してなきあかす

俊明サイヤナラ | 比處7年テ・ラケ!





イヤー助ラネア

(はやし)荒田戻りのホノ 人へ夜明け、武の橋から下 人のでは、武の橋から下 が上町六丁下の十二丁で 部善平さん一厘二厘なんで がかって で聞 どこも陽が照る天が下にかはつちこや太鼓三味 私やおけんに氣がかゝる機島には霞がかゝる りや兵兒の意氣地も娘子がすが、濡れておぢやれば倚可愛か 水良部島から線がこと思ふ たら朱鞘も拔かならぬ

····

音樂物語 駱駝の脊乗りて 大阪放送童話研究會 工二五 氣象通報・番組操告 (東京) 六一〇 ニュース (東京) 六一〇 今晩の番 六三〇 会

この

に出してゐる師匠も澤山あると名づけてこれだけ別に稽古と名づけてこれだけ別に稽古て知られてある「春興鏡獅子」

の話題

景な無秩序を惹の時のあの殺風

【解說】

●……(官廳公示 六、三○ 國民の時間(哈爾慎) 小、三○ 國民の時間(哈爾慎) 哈爾濱和市計畫與我國將來 之關係 哈爾濱市長 施 優 本

東京より

たもの、契情姿から引ぎ抜い て獅子の狂ひになるのでそれ であるところを團十郎がみて これは面白い踊だ、是非維養 にかけてみたいと思つたが、 何の高尙がりから傾城で出る ことを嫌ひ、櫻痴居士に頼ん で大奥の小姓に改作して貰つ たのが、新歌舞伎十八番とし

(はやし)藤州藤摩で高い ら下見れば沙は下汐北の風 ら下見れば沙は下汐北の風 を山丸木は一挺櫓で押せ が下らにや廣い鹿兒島皆食 が下らにや廣い鹿兒島皆食 はず皆食はぢや はず皆食はぢゃ

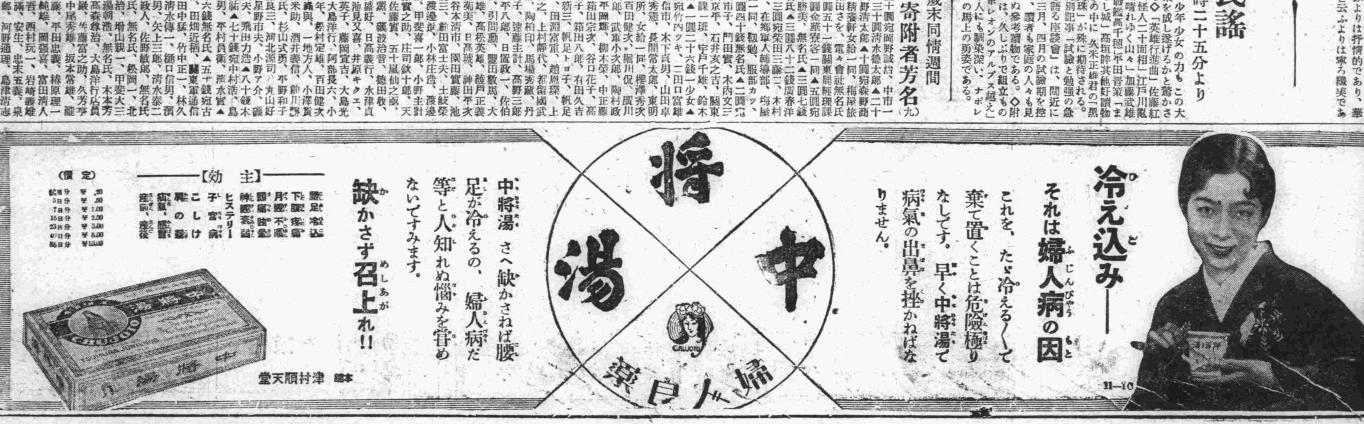
親にましたる神はない神に詣を時や親から先に 一、鹿兒島三下り

は、少年少女の力もこの大事業を成し遂げるかと驚かさい。 事業を成し遂げるかと驚かさい。 「新戦経高千徳」平田晋策「まろし城」高垣牌其他好體物を語る座談會」は、間近に迫る三月、四月の試験期を控えて、讀者も家庭の人々も見なて、讀者も家庭の人々も見なて、讀者も家庭の人々も見からない。 「ナポレオンの馬上の勇姿である。今附の馬上の勇姿である。今时別記事「試験と勉强の急力を驚かされる。」は、間近に対して、人の馬上の勇姿である。今时の馬上の勇姿である。 歲末同情週間

▽……後七時二十五分より

鹿兒島

・ 崇麗、第二樂章の莊重・第三 ・ 崇麗、第二樂章の莊重・第三 ・ 云ふよりは抒情的であり、華 ・ 云ふよりは抒情的であり、華



かき豆腐三ツ ト 料 選 業 立 ×

一上ります

の人には鱧を正しくせよと申よく親切に情宜を盡す、年上 ばならぬと数へ、隣の人にはませんか。家庭では孝行せね

・ 1 1 て 長れ……」 彼女の返事を待たずして、 一金十圓也、右正に借用、 と書き貯金箱の中に入れた して曰く今月は十圓貯つた

一日だ

た。ところで、物は相談だいでせつ」「そいつは豪勢

ね、十圓近く

どもかき豆腐にして頂きますすし冬はあたたまる食べ物でございますが一寸匂ひのあるに好き嫌ひもありまずけれいである。 う。誠に情無い文第ではあり 情の現れがどこに見られませ 共存共榮といふ様な美しい心 き起す様になるのであります

葉薄葛椀

かき豆腐出汁のでなって切り玉子と煮出たのゆでたのをでつけた中へまぜいたのをでしたのをでしたのをでした。 魔少々、 たいのでは、 原の四分のでは、 原のののでは、 原ののでは、 原のの

本具は上に重ねた方が温かいのか、それとも下に重ねた方が温かいかと云ふことは、また、 これを科学的に考へるとで 具は上に重ねるよりも方が、これを科学的に考へるとで 中に入り込みますった方がよい。 電導しると、一枚の時は其の反對の結果になります。 その 理由は 中に入り込みますつまり埋まる形になるのですが、重ねない時は其の反對の結果になります。 その 語製との中の温かい空氣を保つ為めには、下に重ねるよりもが少いのですが、敷浦園に空氣が多く出來で、表別を理め、温かい空氣を保力になります。 その 神に入り込みますつまり埋まる形になるのですが、重ねとの中の温かい空氣を保力になります。 その 神道と 大の 神道と からい 神道と からい 神道と 大の 神道と 大の 神道と 大の 神道と 大の 神道と からい 神道と 大の 神道と 大の 神道と 大の 神道と 大の 神道と 大の 神道と から から から かんり 神道と から かんり 神道と から 神道と から 神道と から かんり 神道と かん 神道と かん かんり 神道と から かんり 神道と かんり 神道と から 神道

らち 上に重れる 12 のこ

溫 るのこ

調協突曲 指新揮 交 ベート・リヴェン リート・リヴェン・ファイム 変響 樂 團 流(鹿兒島)

八四五ニュース・河線きニュース・河 (長唄)

堂々と入れるよ、ところでい。」「ああ、俺も男子だい。」「ああ、俺も男子だ

喜んだ。「さあ……あなた

やら貯金も出來ると

鏡獅子

太鼓胡同三唄唄唄唄唄唄唄 鼓 弓 蛛

を子の儘持つて來たところが を、元來「枕獅子」は本名題 を「英獅子鼠曲」と稱して寛

年歌舞伎座の三月狂言に九代 事である、作詞者は福地櫻知 居士、作曲者は三代目杵屋正 居士、作曲者は三代目杵屋正 た、その曲趣は、第一樂章のた、その曲趣は、第一樂章の一つで、一八〇五年から六年にかけて作曲され、一八〇七年三月ウイーンで初演された、その曲趣は、第一樂章の である。尙聽刻新聞を列一六年マラツカ月刊演文一六年マラツカ月刊演文

を整はて人を傭ぶて異事奇聞を整はて人を傭ぶて異事奇聞を整はて人を傭ぶて異事奇聞用なるを知るに至れり、云々用なるを知るに至れり、云々即ち「海外新聞」である。次に日本に於いて外人の経営するものとしては、りりに翻訳の大型印刷に改め、更に美濃のニュース掲覧の声が開」である。次を創刊、積預別に改め、更に美濃である。次は変が、要に美濃が関の英学新聞は交外が開」である。次は変が、要に割って、一般に対しては、のの大型印刷に改め、更に美濃が、大型中間に変い、表に変いる。次は変が、また。

佐幕との二派を代辯すること 佐幕との二派を代辯すること となつた。動王の中心は「大 政官日誌」だが大阪より「各 関新聞紙」京都より「紹歸」 「內外」は神戸發行の英字新 間の飜譯と難報とを掲載して 在募派に有利なるニュースを 否定してゆく云ふ方針の下に 大阪を中心として活動した週

で足を早めてしまつた。 で足を早めてしまつた。

刊新聞。 競行部數は二大阪を中心として活動

會場 中央銀行俱樂部 中央銀行俱樂部 歌留多、驅霧草

新年俳句大會

ス

〇八四〉牟田隆子まで御通知 から御参會下さるお方は十八 から御参會下さるお方は十八

記聞、 に自然科學、貿易、人 は自然科學、貿易、人 は自然科學、貿易、人

最談(十三册) 総長本関係が大部分 を大インスリーの編輯 が大部分

こらつ、

いちやつい

本初期の新聞と支、蘭、英國

0)

交流關係雜記

き出してしまった。 毎つてゐる事も、マスターが の中で、俊一はそんな風に思 の中で、俊一はそんな風に思

か 思はずにゐられなかつた昨日 だけの事、あんな女に會ひに だけの事、あんな女に會ひに を例によつて自聞自答し乍ら 様な氣持で一パイだつた俊一 様な氣持であるれな氣持を嬉しく

くよせよ、喧嘩など

と自嘲したり、

をグルく三四回も歩いた後か俊一には好しかつた、街中かすかに池に映る姿、すべて中から聳えてゐる五電塔の、

相なな

向 .\$-

局草て、玲子

皆んな、何か歌はらか、デおい酒でないよ、一どらだ

はがしくなつ

第四日曜日午後五時より
文本学学学の音冊作
文本学学学学学の音冊作
来る廿六日(日曜日)午後五時から、新らしい年の親院の意味を兼ねて恒例の文藝座談會を開催致します、八く在京文藝人の來會を希望致します。

親

に行これ、何で云つたつけな、そうと山海カフエー、あそれ

」と云ひ出した。 海カフェー、あそこ

をひそめて前の言葉を氣にしたらしかつたが、すぐ思り、

いぞを」
いぞを」
いぞを」
いぞを」
一大の女は、さんで、ひようきん
一大の女は、さんで、云ひ合
一大の女は、さんで、云ひ合

ほんまに頭が痛かつ

スターが可愛が

玲ちや

ん、今迄何してたん

頭が痛

畑いので、休んでは一寸嶋を靜め

いので、休んでたんに一寸鳴を靜めた。た事になりそうにな

SEIRI

、表だ來て間もない。

片目をつぶつてゐる、

のを知

後から

俊一は

近づ

・人、姉さん株、妹株の間

、古い人、新

俊一は、

フェにきて入る時はなる

『意を求めた。

給の中には鈴子も居て、酒同はじ様な顔振れの女給 り氣ない様な風をした

と佐谷に問はれて、「おー、飲まう」と答へてしまつた。
お子がきてから、何だか、急
に歸りたくなくなつた自分の

である友人の介抱にかいつた を書くと、出口迄送つてきた か手に「明日四時頃來るよ」と 云ひ乍らそれを渡すと、醉つ

どもボット、世での話なたのた、群が廻るにつれて段々席た、酔が廻るにつれて段々席た、酔が廻るにつれて段々席と、か蹴れ、その内、昨夜の話なたりが馬鹿の様に思へてきた。

佐谷は、立上つて「おい歸る

額なぞ余り白粉氣のない、髪を上げてみると比較的小柄な云はれて、俊一はちよいと日云はれて、 宣作に後に東ねた 細面のけてみると比較的小柄なけてみると比較的小柄な た事を云ひ.

た友人の一人がそんけないぞ」

會つた玲子の事を考へたり、 ころか、あとで見學には身を ころか、あとで見學には身を とのなかったが、昨夜 は非常に樂しかった、錄々ど

事を言ひ出した。

いゝ事、あつたんで

か氣が浮々として一人北搜笑

ロリと俊一の顔をみただはそんな返事をし乍人の一人にきかれて、

長

話してゐた、靜子と云ふ女給らつてゐて、今迄友人と何か佐谷がそう云つた時、醉つば 今晩は、さあお掛け 「私、お酌する」 玲子は、その「私、お酌する」 玲子は、その「私、お酌する」 玲子は、それだ、おい、ついでやつてくれだ、おい、ついでやつけた。 う云ひ乍ら、ピールを、その 女給から受取ると、 「ほんまに、闘々しい」 関から又、靜子の僧々しげな 際が起つた。 きなり俊一にそう云つた。まつてから、隣りの玲子がいまつてから、隣りの玲子がい 「私、Yに行き度い「そらあいゝ所さ」 「うむ」

門でみあらへん、とつちの方に顔をむけた。 ふいと止めて玲子は な額いてせると、俊一は急に 「本氣で云つてるのかい?」 と真鯛な額になつて今度は、 と真鯛な額になつて今度は、 「よし、來いよ」 「よし、來いよ」

廻つてゐて、いつの問 「よし、來いよ」 同時に此んな自分の心も認めたが、そう云ひ切つてしまつたが、そう云ひ切つてしまった。 気が退けた様な気がして四邊を見廻した、友人の二人は、酒が廻つて寐てゐたし 相な顔をしたのが一人きりれてれて、いつの間にか寐いてあて、いつの間にか寐いてある。 ざつと前にれてれてれて、いつの間にか寐いない。 最後の見學を二三人の友人と 此めて、四時近く宿にかへつ た、「明日の四時頃來る」と だが、どうせ今夜亦行くのだ だが、どうせ今夜亦行くのだ た氣持を長く保たらと思つた た気持を長く保たらと思つた たな氣持で、止めて皆と一緒に な気持で、止めて皆と一緒に 常に氣持がよかつた、向ふのほとりなど歩いてゐて、中晩は又馬鹿に暖かで、猿襷 着いた當時は塞かつたが、今後一は例の仲間と街に出た。 、七時頃、暗くなると、しい標な時間もやつと經 猿澤地 蹇物語、

盛つたり. は、もう昨日の様に麻極端に酒の强くない他

俊一や佐谷の様に、そんなに 一人でカブ((飲み初めた、 他の連中

をして嫉婦中の傷生さくチョーをして嫉婦中の傷生さくチョーを開けば、繋ずるより生むが易いのいるります。 けし、要心してゐるつもりでも けし、要心してゐるつもりでも

持つてこい」 昨日の名刺 た分に構じなければなりません。 をれで先づつはりですが、之が でなると楽養が全く我へるのみ か、顕まで狙されて生命を失ふと 丈夫な子を安産

足の食養生

前正辯 判七護 事位士

「エ、?」と不審がる玲子に をう突けんどんに云つた。 で、。 をう突けんどんに云つた。 から、つはな

だか、ハッとしたが、わざと云つて、俊一に渡した、一 い」と繰返すと、今度はすぐ「早く、昨日の名刺持つてこ 紙にちやんと書い わざと 一壁、つはりは陰鬼や胎離から いれてゐますが、最近ウィタミン られてゐますが、最近ウィタミン られてゐますが、最近ウィタミン

タミンBは

関五百匁を失って上 関五百匁を失って上

重は大凡十分の あますので、常分は野菜や肉のス重は大凡十分の あますので、常分は野菜や肉のス重は大凡十分の

れてゐますだけに、鯉コ 進劑として緊急學者

れなければならない事とは野さまでもないことも

くなり、策養のよいお乳が澤山出

と、廣い観劇の食餌から祭養公 全身の榮養が非常によ

ですが、概して二人ですが、概して二人

の衰弱があまり甚だしかつたり

体復が捗々しくなかったりする

分が多いことが一つの原因であり

る榮養素を一緒にした

これを服めば胃臓の衰弱も恢復 て食慾がする、從つて食物

産役の表別も

の酵素が含まれて居り

て、だん

榮養に富んだ

普通食

論のこと、在來の肝油やヴィタ

剤やアミノ酸剤等に含まれて

たし等の消化のよい食餌から始め

馬鹿な、輕薄な、と自らの心 を叱つたり、嘲笑つたりし乍 らも、今の自らの心をどうす る事も出來ない、たつたあれ

一人ひよろく、おく後から 裏切られた様な感情に堪へ兼 裏切られた様な感情に堪へ兼 「佐谷、先に隣るぜ」で粉々に破つてしまつた。で粉々に破つてしまつた。 一般には脚類に動する効果のみが、一般には脚類に動するが果があつて、元のは解者及び新陳代謝を旺盛にすが、一次には一般等のは解者及び新陳代謝を旺盛にするが用きありますが、更に責ばしいて、一般には脚類に動する効果があって、元のは解者及び新陳代謝を旺盛にするが、現に対して、一般には脚類に動する効果のみが、

お 產 この、失つた二合の血と、一貫での表別を恢復するには、つとめ、とった二合の血と、一貫での表別を恢復するには、つとめ

や餅などを食べると、

て「ザヤバン・タイムス」と行家ソッカビーフの手に移つ

丈夫な子を安産 白崎ユ

一 になっところ二段外もあります。 この子が日に増し大きくなるに この子はれる庭に、この子は大きいとで いはれる庭に、この子は大きいとで いはれる庭に、この子は大きいとで それほど「錠利わかもと」を 無田のんでゐたので、とても丈を はいったなら、なぜ長期の時 せん。こんなに「錠利わかもと」を かまで可愛くてで愛くてたまりま がよかつたなら、なぜ長期の時 も も服まなかつたのか知らと今更ま かまいら悔いてゐる次第です。 またばと

キ子

乳を何時もタップリ赤ちゃんに飲

らはしい思ひをしながら三度々々 胃腸の機能を昂めて、奈泉の榮養 **発養をよくする爲には別にわづ** よくすることが肝要であります 生もさること作ら、要は務めて

ませながら、一方、 公園大門際、築養と育見の

員

(御一泊八十錢)

をいっているとは、感情には、ないことは、感情に関されない様にすることでありに言されない様にすることでありに言されると語が死んだり、また早に、ないは、ない。 またい は、 できる は 寒さに向 妊娠中に起り 婦の かいなどに働いてつはりを織めるとに がいまたではりにインシュリンを用 対によらなければ用かられない態がこのインシ のると行効ですが、健深をそれは注 がいました。といっていりを織めるとに 脚氣 浮腫腎臓炎の手當 易いつはり ら製られた代表的の薬なのであり

のんでも効く

たま

っなりに悩む妊婦 おものなことが 整理せ Bと共にヘーフ

尿に蛋白が現れる

も優秀なものか のある若葉(わかもと)には穏々 すゝめしたい良楽がら若葉(わか 起し母子とも命を寒はれる恋ろし 好影響を難し、感がれてをりま い線質を煮起す事があります。 難いませた陰気と、 ところが前むの、つばりに効果 妊娠中の癖人にはとから者葉(おかもと)には穏々 すゝめしたい良楽

難い丈夫な贈慣となれます。 「然」を置し、感冒などに が影響を置し、感冒などに が影響を置し、感冒などに が影響を置し、感冒などに が影響を置し、感冒などに が影響を置し、 が影響を置し、 が影響を置し、 がいてきない。 がしない。 がいてきない。 がしない。 がいできない。 がいできない。 がいでもない。 がいてもない。 がいできない。 がいでもない。 がいでもない。 がいでもない。 がいできない。 がいでもない。 はいでもない。 がいでもない。 はいでもない。 はいでもないでもない。 はいでもない。 はいでもない 十数種の貴重な榮養素を外にもヴィタミンA、D

か本ノ

いできるかと

かれます。特に脚泵にはヴィタ ンBが豊富に補はれますので、 かれます。特に脚氣にはヴィタ 一併も若素(わかもと)に A、Dやその名

便通、利尿を整へ、新陳代謝を吐よくし、曾膝や腎臓を安羊にしてよくし、骨膝や腎臓を安羊にして

室

日本橋通六十三番地 の設備完 の設備完 が室

顆粒便

理料版大学の大阪一品料理大阪一品料理

◆お需めに應じ急速派遣致します

看護婦、附添婦、家政婦

新京看護婦會

電話(8)六九七三番新京室町三丁目七



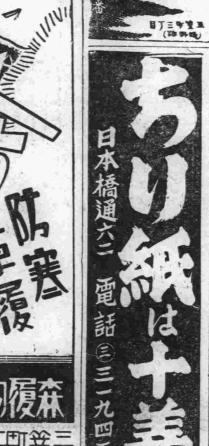
▽配達迅速△ **豐樂路近埠街角**

時 浴室の設備あり寢具大清潔御家族連れの方便利なり 新京老松町西(普 通學校正門前

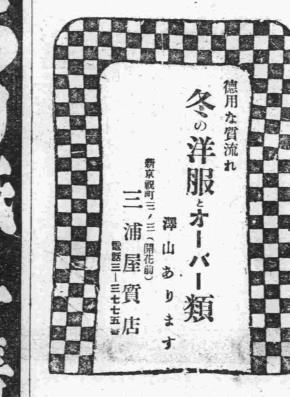
隨

新京驛より中央通へ二丁







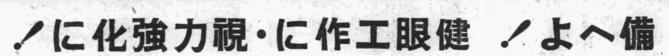












携帯用容器

版大·京東 店理代總 社會名合置玉 腰症・充血等に 疲勞・眼瞼炎・涙 ・シホーム・眼精 が、角膜炎 交通 交通事故の大多數は不注意とてある。通勤に、外交に一日を街頭に過れると言はれてある。通勤に、外交に一日を街頭に過れるとでは、別の混迷から起ると言はれてもスマイルによる健康工作は不可能である。

運動 パの寵見である。外光や、塵焼等の脅威から眼を護り、進んで健眼を焼等の脅威から眼を護り、進んで健眼を焼いてこそスポーツの歌喜は巌吹され

せねばならない。

では必ずスマイルを默眼して眼を保護とは必ずスマイルの活用が急務である。 で変勢の苦痛を救ひ、又之を豫防する為に な姿がの苦痛を救ひ、又之を豫防する為に を同時に眼の勢役である。 と同時に眼の勢役である。 と同時に眼の勢役である。

日滿婦人會員

中の赤木夫人、徳憲兵司令官夫人、卓王夫人へより皇軍慰問に御戍病院を訪れた〈寫眞は慰問日滿兩國の総人會幹部連一行は十七日午後一時

に取換を行つたがそのため新京驛には一時間二十分おくて進行中機關車のエヤーパイプか破損同驛清と共に直ち十八日午後五時四十分定費の下りあじあは兔州驛に向け

東京市現住所新京中長男西本義雄氏(三)

衛戍病院慰問

タ刊所報ー去る十五日夜礼町 及び李(未逮捕)と相談して たれたが主犯周を強の有り場所並び でれたが主犯周を強の有り場所並び でれたが主犯周を強の有り場所並び でれよりさき脅迫用の危丁を でを奇貨に共犯覆登山(二一) 及び李(未逮捕)と相談して 大工日夜兇行を演じたもので で表してるた事質で無用してゐた に話してるた事質で用してゐた に話してるた事質を対したもので で表した金九十圓(百六十圓)と相談して を変した金九十圓(百六十圓)で で表してるた事質を十七日朝 で表してるた事質を十七日朝 で表してるた事質を十七日朝 で表してるた。 で置し四十六圓懐にして を表してるたとを知つてゐるの で表してるた。 で表してるた。 で表してるた。 で置してるた。 で置してるた。 で置してるることも を変してるることも に話してるた。 ので書が、 のでまる。 のできる。 のでまる。 のできる。 のでる。 のできる。 の

主任はこもべく語る

出來るだけで今後とも一層、只なすだけのことをなした

サーニ日から全議一湾に火蓋を 切つた『戸外週間』は各地各 が変対して豫想外の成果を収 を誘致して豫想外の成果を収 を誘致して豫想外の成果を収 を対大人の戸外護数につとめる を共人の戸外護数につとめる を共に各壁校でも種々の催し の下に見童の戸外護数につとめる を共に各壁校でも種々の催し にて盛大なるが方。では十三日 して盛大なるが方。では十三日 して盛大なるが方。では十三日 して盛大なるが大童となつ に上外週間もいよく、あと一日に にた戸外週間に因める優秀なるが ボスター六十餘點を會場に際命 では本子供も であるが新京では十三日 の下に見童の戸外護数につとめる にた戸外週間に因めるが表別に であるが、二の戸 が過間をいよく、あと一日に になって、常日は であるが、第日は であるが、第日は であるが、第日は であるが、第日は であるが、第日は での野力を無料のであるが、一日に になって、常日は での野力を無料のであるが、一日に になって、常日は での野力を無料公開し午後

市大科路一區二段ノー六駒市大科路一區二段ノー六駒に野山口縣現住所新京特別は所奉大八幡町九田邊豐在住所率大八幡町九田邊豐在

【奉天國通】別項病軀を賭して悪壯護國の鬼と化した東瀬 曹長等十勇士の華々しい職死 につき三毛部隊司令官は左の

戦死に對し自分から

防金献金好成績 **※十七萬餘圓に達する成績** 豫定額には今ひと息 八持道め

防空氣球見學演習 よ來月一 日

小學兒童に到るまで種々の挿 此うち新京附屬地滿鏡地方事 て献金されん事を望んでゐるを與へ上は國務大臣から下は いに當局を感激させてゐる。 際その額の大小に拘らず振つのスローガンを掲げて全市民 がつづけられ既に總額十七萬 に上り好績を示してゐるがこのではかけた防空協會の献金 餘圓に達し豫定額までにはあ の献金には今のところ締切期 と七萬餘圓までに漕ぎつけ大 限といふものはないので此ので此のがかけた防空協會の献金 餘圓に達し豫定額までにはあ の献金には今のところ締切期 番所の扱ひ高は約四萬五千圓

矢澤、

都演習に關し十八日午後二時 の演習に關し十八日午後二時 は、この見 議を行ひ當日の部署準備其他室に於て關係者集合打合せ會 明日午後二時打合せ會議

慰問袋募集の

を決定する筈である

十勇士の最後は

打合せ會 全國的に 初の講習會と校醫の委囑

=三毛司令官感激して語る=

學校救急法の各部門に亘つて

松月の强盗主犯に

スピ

ユ

アの豪華版

元同家の傭

解雇後は五六回馬賊も稼業

対脳地附近を襲つた日語の巧 みな男であつた

華版を展開する 特別出場される 般市民の各種ス を表現しまする

對抗競技、一

一 催者地事社會係では當日參問人 には防寒設備を施し多數市民のため會場附近

御影池課長

署員を犒ふ

前結婚式

和

目出度七組

初置 八羽前歌 の州波

錦川岩潮昇花山海洲湊山島甲海山嶺川川山島川中山若山光 目



騒せしまして申

出入强盗 昨日新京署に捕べられた极月食堂 と、主人は語る と、主人は語る ※※※美談を織り 温かい 被害者 * 九 東

學校衛生知識を

叉教部での新計畫

努めます、奴等が來れば來 を報苦心も多いがそれだけ 仕事の仕甲斐があつていゝ 知れぬ痛快を感ずるだけだ と流石國都を護る警察官らし く力强く調つた

大国に同情の 大国に同情の 大国に同情の 大国に同情の 大国に同情の 大国に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田に同情の 大田にの 大田に同情の 大田に同情の 大田にの 大田に同情の 大田にの 大田に同情の 大田にの 大田に同情の 大田にの 大田にの

西二丁) 大同公園 大 友 牧師 部ですといつて五角、役所関 係では南標局についで人事處 業聯合會の貧民收容所に勤務 してゐる趙玉田氏以下十一名 からも僅かな給料を割いて得 た二圓三角を屆け出た 「運命以外の一路」 新京教會

日本メソデスト

大大刀若 (出し投げ) 大大刀若 (出し投げ) 一大大刀若 (出し投げ) 一大大刀若 (出し投げ) 一大大刀若 (出し投げ) 一大大刀若 (出し投げ) 一大大刀右 (出したき込み) 一大大刀右 (出したき込み) 一中 大 (記したき込み) 一年 (記したきとの) 一年 (記したき込み) 一年 (記したきとの) 一年

東京春場所

×各方面か

方々に感謝の外ありませんの御力で犯人も今日逮捕されたそうですが誠に警察のお々

伊綾玉防大楯駒富大綾幡新瓊番巴旭高鏡濱武西 薄 の長八 のの邸 襴 の神 水綾 花錦海山州甲里山山川川海浦山潟川登岩川山 方

射錦三九桂金錦土和海縣出營双笠出綾大男玉東 水華熊州 被州歌光前務 葉體務 女 川山山山川湊嶺山島山山湊石山山花昇潮川錦方

大

相

撲

春

所

成 績

星

高計 正 十八日附夕刊四面 高計 正 十八日附夕刊四面 一 一 十八日附夕刊四面 登川川山山石山潟浦山里川川山湊山山山川錦花 里海浪甲

八目丁一町菜莲京新

新京輸入組合加盟官 東語三一三二九一番 東語三一三二九一番 杨內支店

グサウェ 給數務 仕名員

新京梅ヶ枝町三丁 但二十五六才まで 込のこと 電話 六番地 (3) 三四七 六九 ΛΟ ニカル

洋室家具付、獨身及家族向食堂、 室 料 値 下 風呂其他設備完

左記 により 障繰合せ御 B 局 富七町千鳥 滿洲電氣合資會社內 月十八日午後五時半 瓊林會新京支部 電話三一二三七一番 商 席相成度御案内申上候窓會開催致し候に付萬 電話三一二二七一 諸同 君窓に生 告ぐ

新京三州會事務所 日間トツ プのお方に 寶樂劇場の招待券を差上げ

開

大日本麻雀聯盟滿洲本部

R. C. R 麻

つらへてある、カウンター

いいとで、卓子が二つと机が一つ

てゐたが、やがて、

御壽司」の御下命は!

「まあ、そこへ掛けたまへっ」

机の上には草上龍話がおい

順角のカウンターが腕の高さにし

ちろくとこつちの機子を見守つへつたまよ、何んにもいはずに、

門端嶽麓士は椅子にふんぞりか

めて、その三和土をかこむやうに こが中域はかりの三和士になって

アス解があいたと思ふと口影ばか、一般のうなるやうな影がして、

りに「知りません。」と答へた。 勝太郎は不意に反抗するやうに

當店自恢の松前壽司を!!!

入和分局三—三二八三番

132 15

開だが年齢は?」

「確かに内海耕太郎君だね?失

『正十九歳です。』

一師蛇下さい

ーお聞みしま

出した。

抽斗をかき個して一頭の問題を取っといふと、自分はごぞく、机の

(H

上に多大の利益など難してくれさ なころで、この機へでは、彼の一身 たころで、この機へでは、彼の一身 た

をぬいで、いんぎんにお辞儀をし

所長宝へ入ると・耕太郎は外套

「お手紙を見て上つたのです

卑屈なやうな気がして、甚だ愉快

株式現物 宣買

松尾盛男商店

うには思へない。節を入ると、そ

曜

粉太郎は何んだか軍苦しい氣分析がか、つてゐるのである。

土)

神がかゝつてゐるのである。 「川端法律事物所」の智麟な智はゐないだらうか。――耕太鵬は の選よいところに、前にいつと、すると此家には、他に事物員 のである。 いよく、気が難くなつて来た。

公債、株式口

電話三一四〇六七番

新京東三條通リ四十二番地(蒲磯病院債))

なんも

あり枝町一丁目

E

新京三盆町三京

の御高囑に應ず

辯護士

其他

電話三一四七九〇番

間に一間半ばかりの中間が洋風

その壁には戯色によごれた暗木盥 言葉の様子では、どうやら出男る。総には総の襷が垂直に並んで はいて――。」 ないはといで…… 草腹をの 解になつて、後二側が腰板から こさら ちゃ、こちらへよりた

為 河 丸 一月十九 門司、神戸(大孙)行

(人)

切からしてのこくと出かけて来 特太郎はまるで孤につまゝれた たーといふのは、文献の最後たーといふのは、文献の最後 『内海耕太郎ですが…… 昨夜お 四十男が現れたの でみせると様子は驚いたやうに、 その男が経しむやうに訪ねるの 水 昨夜お 告村

貴族

できるくと他の様子を眺め廻した。 と既く叫んで、改めて無差歳に

●專屬荷扱所 國際各地運輸會社支店 國際各地運輸會社支店 大) 遊支店 電二一三三 新京事務所 電二一三三 一 電三一三十

廻してゐたが、やがて情形な態度男はもう一度耕太郎の様子を見

できたない智弱な電視。――唯かにことを考へながら、歩いてある彼。ことを考へながら、歩いてある彼。ことを考へながら、歩いてある彼。

「内御君? 選ひないね?」

たづれてもからあやかやなやらである。 ― それにしても、近所で

は、この法律事務所なんているか

云々」といふ一句があつたからで

機械床

上

敷

替

兒玉

表 新 疊

直 竹田 静平内 棉干代石 井 启子

(產婆瓜遺應需) 日本橋通れ-(朝日通角) 話(3)5689番

新京曜町三丁目十八 新京東二條通三九 東店 電(3)三四九八番 商店

平

・吉野男の丁目・・・ さいというとうという いいに 新し い柄 豐 富

粉 蛋

肖

脂 助

そ 0

他 約 =

+

種

0

消

化

酵

素

を

含

京・室

町

Ξ

共

株

式

社

化 圣 助 V 榮 養を増 す 粉 末 錠 劑

消

各 種 說 叨 書 進







新京室町二丁目

美電話工

一丁目一番地(田 一丁目一番地(田 一丁目一番地(田

入御買上毎に紅茶々碗一個 1100℃個限り遊長します 井茶園機 特選青レベル 市内食料雑貨店ニア

